

## 工事成績評定の考査項目表

区分：標準型【土木用】

適用年月：平成30年8月

対象工事：土木工事 …… 当初契約金額5,000万円以上

考査項目：【監督員】

|   |       |
|---|-------|
| 施工体制一般<br>配置技術者<br>(現場代理人等)<br>施工管理、工程管理<br>安全対策、対外関係<br>出来形、品質<br>難易度、創意工夫 | 全工種共通 |
|---|-------|

【主幹及び副主幹】

|                   |       |
|-------------------|-------|
| 工程管理、安全管理<br>地域貢献 | 全工種共通 |
|-------------------|-------|

【検査員】

|          |   |
|----------|---|
| 施工管理、出来形 | 全工種共通   |
| 品質、出来ばえ  | コンクリート構造物工事、法面工事、鋼橋工事、舗装工事<br>可動ゲート工事、橋・伸縮装置工事、床版補強工事<br>小規模植栽工事、植栽工事、標識工事、塗装工事<br>区画線等設置工事、特殊法面工事、盛土工事切土工事<br>環境護岸工事、基礎工事(地盤改良等)、地覆・高欄工事<br>防護柵工事、L型擁壁類工事、地下排水等工事<br>植栽張芝工事、ブロック積・水路工事、補強土壁工事<br>取壊工事、ボックスカルバート工事、下水道工事<br>用排水管路工事、テニスコート人工芝工事、仮設工工事<br>推進工主体工事、柵工・筋工・伏越工事<br>土工事(区画整理・農地造成)<br>路面切削工事、剥ぎ取り舗装工事、舗装復旧工事<br>水管橋、林道工事(軽微)<br>木材木製品工事(木橋、木土留工、木流路工等)<br>暗渠排水工事、上水道工事 |

工事成績採点の審査項目表（標準型(土木用)）

項目：施工体制

<監督員>

| 種別     | 工種 |  | b   | c  | d   | e           |
|--------|----|--|---|--|---|-------------|
|        |    |  | 80%以上   | 60%以上80%未満   | 60%未満   |             |
|        |    |  | 施工体制が適切である。   | 他の項目に該当しない。  | 施工体制がやや不備である。   | 施工体制が不備である。 |
| 施工体制一般 | 共通 |  | <input type="checkbox"/> 施工計画書の現場組織表並びに施工体制台帳が適切に記載されており、作業分担が現場と一致している。<br><input type="checkbox"/> コリンズの登録は、監督員の確認を受けた上で、契約後適正(全ての登録が10日以内)に行われている。<br><input type="checkbox"/> 出来形・品質・写真管理等が社内で十分チェックされ、修正指示も少なかった。<br><input type="checkbox"/> 建設業退職金共済制度の主旨に則り、証紙の配布が受け払い簿等により1ヶ月以内に報告されている。また、下請け等に対する措置も適正である。<br><input type="checkbox"/> 下請通知書及び下請負人選定理由書等が提出され、記載内容が適正である。<br><input type="checkbox"/> 工事規模に応じた人員、機械配置の施工となっている。<br><input type="checkbox"/> 緊急指示等に対する対応が速やかである。<br><input type="checkbox"/> 施工計画書に社内検査員を定め、社内検査基準及びチェックシートに基づき検査を実施している。<br><input type="checkbox"/> 建設業許可票など現場掲示物を適切な場所に掲示している。<br><input type="checkbox"/> 施工体制全般について、指摘事項がなかった。 | <input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督員が文書による改善指示を行った。 | <input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 |             |
|        |    |  | ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。  |  |   |             |

工事成績採点の審査項目表（標準型(土木用)）

項目：施工体制

<監督員>

| 種別            | 工種 | a                                | b  | c   | d  | e             |
|---------------|----|----------------------------------|--|---|--|---------------|
|               |    | 90%以上                            | 80%以上90%未満   | 60%以上80%未満  | 60%未満  |               |
|               |    | 技術者が適切に配置されている。                  | 技術者がほぼ適切に配置されている。  | 他の項目に該当しない。   | 技術者の配置がやや不備である。  | 技術者の配置が不備である。 |
| 配置技術者(現場代理人等) | 共通 |                                  | <input type="checkbox"/> 現場代理人として、監督員との協議等において責任ある対応を行い、工事全体の把握ができています。<br><input type="checkbox"/> 施工に先立ち、現場代理人又は主任技術者が事前の調査・測量及び試掘等、入念な準備をしている。<br><input type="checkbox"/> 書類整理、資料整理が見やすく適切に処理されている。<br><input type="checkbox"/> 契約書、設計図書、指針等を良く理解し、改善指示も受けず、現場に反映して工事を行っている。<br><input type="checkbox"/> 工事実施中に現場との相違が発生した場合、報告書及び照査報告書等により適切に対応している。<br><input type="checkbox"/> 請負金額3,500万円(建築一式工事の場合は7,000万円)以上の工事において、主任技術者又は監理技術者を専任で現場に配置している。<br><input type="checkbox"/> 作業困難な箇所において、作業環境、気象、地質条件等の困難克服に努めている。<br><input type="checkbox"/> 主任技術者又は、監理技術者として技術的判断に優れ、手戻り・手直し工事もなく良好な施工に努めた。<br><input type="checkbox"/> 作業主任者を選任して、現場に氏名を掲示し作業員への周知を図っている。<br><input type="checkbox"/> 現場代理人や主任技術者が腕章を着用している。<br><input type="checkbox"/> 下請け工事等に対し、現場代理人及び主任技術者の実質関与が確認できる。<br><input type="checkbox"/> 配置技術者について、指摘事項がなかった。 | <input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督員が文書による改善指示を行った。 | <input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 |               |
|               |    | ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。 |  |   |  |               |

工事成績採点の審査項目表（標準型(土木用)）

項目：施工状況

<監督員>

| 種別   | 工種 |                                  | b   | c  | d   | e           |
|------|----|----------------------------------|---|--|---|-------------|
|      |    |                                  | 80%以上   | 60%以上80%未満   | 60%未満   |             |
|      |    |                                  | 施工体制が適切である。   | 他の項目に該当しない。  | 施工体制がやや不備である。   | 施工体制が不備である。 |
| 施工管理 | 共通 |                                  | <input type="checkbox"/> 工事請負契約書約款または契約書18条第1項第1号から5号に係わる設計図書の照査を行い、照査報告書及び打合せ簿等で監督員の確認を受けて施工している。<br><input type="checkbox"/> 施工計画書の内容が設計図書及び現場条件を反映したものとなっている。<br><input type="checkbox"/> 施工計画書と現場施工方法が一致している。<br><input type="checkbox"/> 工事材料使用願や材料確認書等を不備がなく提出している。<br><input type="checkbox"/> 日常の写真管理を設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。<br><input type="checkbox"/> 日常の出来形管理を設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。<br><input type="checkbox"/> 日常の品質管理を設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。<br><input type="checkbox"/> 工事打合せ簿を不足なく整理している。<br><input type="checkbox"/> 現場でのイメージアップに積極的に取り組んでいる。<br><input type="checkbox"/> 建設副産物の数量に問題がなく、リサイクル等への取り組みが適切に行われている。<br><input type="checkbox"/> 現場内での整理整頓及びごみの整理が日常的に行われている。<br><input type="checkbox"/> 適切な提案が積極的に行われ、工事に反映されている。<br><input type="checkbox"/> 仕様書又は監督員の指示に従い、段階確認・立会が適切に行われている。<br><input type="checkbox"/> 工事材料の品質を損ねないように、適切に保管されている。<br><input type="checkbox"/> 施工管理について、指摘事項がなかった。 | <input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督員が文書による改善指示を行った。 | <input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 |             |
|      |    | ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。 |   |  |   |             |

工事成績採点の審査項目表（標準型（土木用））

項目：施工状況

<監督員>

| 種別   | 工種 | a  | b             | c           | d  | e           |   |
|------|----|--|---------------|-------------|--|-------------|---|
|      |    | 90%以上  | 80%以上90%未満    | 60%以上80%未満  | 60%未満  |             |   |
|      |    | 工程管理が適切である。  | 工程管理がほぼ適切である。 | 他の項目に該当しない。 | 工程管理がやや不備である。  | 工程管理が不備である。 |   |
| 工程管理 | 共通 | <input type="checkbox"/> 工程に与える要因を的確に把握し、それらを反映した工程表を作成している。<br><input type="checkbox"/> 工事の進捗を早めるための取り組みを行っている。<br><input type="checkbox"/> 特別な事情がない限り、契約後1ヶ月以内に工事着手した。<br><input type="checkbox"/> 実施工程表の作成及びフォローアップを行っており、適切に工程を管理している。<br><input type="checkbox"/> 現場条件の変化への対応が迅速であり、施工の停滞が見られない。<br><input type="checkbox"/> 時間制限や片側交互通行等の各種制約への対応が適切であり、大きな工程の遅れが無い。<br><input type="checkbox"/> 適切な工程管理を行い、工程の遅れが無い。<br><input type="checkbox"/> 休日の確保を行っている。<br><input type="checkbox"/> 工程管理について、指摘事項がなかった。<br><input type="checkbox"/> |               |             | <input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督員が文書による改善指示を行った。 |             | <input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 |
|      |    | ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。   |               |             |  |             |   |

工事成績採点の審査項目表（標準型（土木用））

項目：施工状況

<監督員>

| 種別   | 工種 | a  | b              | c           | d   | e            |  |
|------|----|--|----------------|-------------|---|--------------|--|
|      |    | 90%以上  | 80%以上90%未満     | 60%以上80%未満  | 60%未満   |              |  |
|      |    | 安全対策が適切に行った。   | 安全対策がほぼ適切に行った。 | 他の項目に該当しない。 | 安全対策がやや不備であった。  | 安全対策が不備であった。 |  |
| 安全対策 | 共通 | <input type="checkbox"/> 社内パトロール等が行われており、指摘を受けた事項について、速やかに改善を図っている。<br><input type="checkbox"/> 安全教育及び安全訓練等を半日/月以上実施している。<br><input type="checkbox"/> 安全巡視、KY等を実施し、記録を整備されている。<br><input type="checkbox"/> 新規入場者教育の内容に、当該工事の現場特性を反映している。<br><input type="checkbox"/> 使用機械、車両等の日常点検整備等がなされ、記録が整備されている。<br><input type="checkbox"/> 重機操作に際して誘導員を配置し、重機と人の行動範囲の分離措置がなされている。<br><input type="checkbox"/> 仮設工の点検及び管理を、チェックリスト等を用いて実施している。<br><input type="checkbox"/> 工事現場における保安施設等の設置・管理が昼夜共に的確である。<br><input type="checkbox"/> 交通誘導員の配置計画について、事前に監督員と詳細な協議がされ、的確な交通誘導員の配置がされている。<br><input type="checkbox"/> 地下埋設物及び架空線等に関する事故防止対策に取り組んでいる。<br><input type="checkbox"/> 災害防止協議会（工事安全協議会）等を1回/月以上行っている。<br><input type="checkbox"/> 過積載防止に積極的に取り組んでいる。<br><input type="checkbox"/> 高所作業においては、安全対策が適切である。<br><input type="checkbox"/> 安全対策について、指摘事項がなかった。 |                |             | <input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督員が文書による改善指示を行った。<br><br><input type="checkbox"/> 軽微な事故の発生 |              | <input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。<br><br><input type="checkbox"/> 重大な事故の発生 |
|      |    | ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。   |                |             |   |              |  |
|      |    | ※ 工事故について<br>・「軽微な事故」とは、都城市建設工事等入札参加者資格審査委員会の審議の結果、「口頭注意」又は「文書注意」の措置となったものをいう。<br>・「重大な事故」とは、都城市建設工事等入札参加者資格審査委員会の審議の結果、入札参加資格停止の措置となったものをいう。  |                |             |   |              |  |

工事成績採点の審査項目表（標準型（土木用））

項目：施工状況

<監督員>

| 種別   | 工種 | a   | b              | c           | d  | e            |   |
|------|----|---|----------------|-------------|--|--------------|---|
|      |    | 90%以上   | 80%以上90%未満     | 60%以上80%未満  | 60%未満  |              |   |
|      |    | 対外関係が適切であった。  | 対外関係がほぼ適切であった。 | 他の項目に該当しない。 | 対外関係がやや不備であった。                                       | 対外関係が不備であった。 |   |
| 対外関係 | 共通 | <input type="checkbox"/> 工事施工にあたり、関係官公庁等の関係機関と協議し、トラブルの発生がない。<br><input type="checkbox"/> 工事施工にあたり、地元との適切な調整を行った。<br><input type="checkbox"/> 積極的な地元対策を実施し、第三者からの苦情がなかった。また、苦情に対しては適切な対応を行っている。<br><input type="checkbox"/> 関連工事と調整を行い、関連工事を含む工事全体の円滑な進捗に寄与している。<br><input type="checkbox"/> 捨土及び工事で使用した土地について、同意書及び跡整地完了届を提出した。<br><input type="checkbox"/> 捨土が適正に処理され、土砂流出等の被害が発生しないように施工している。<br><input type="checkbox"/> 地域住民や通行者に配慮した工事看板や案内板等を設置している。<br><input type="checkbox"/> 対外関係について、指摘事項がなかった。<br><input type="checkbox"/> その他 |                |             | <input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督員が文書による改善指示を行った。 |              | <input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 |
|      |    | ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。  |                |             |  |              |   |

工事成績採点の審査項目表（標準型（土木用））

項目：出来形及び出来ばえ

<監督員>

| 種別  | 工種 | a  | b                            | c                         | d   | e  |
|-----|----|--|------------------------------|---------------------------|---|--|
|     |    | 90%以上<br>出来形管理が適切である。  | 80%以上90%未満<br>出来形管理がほぼ適切である。 | 60%以上80%未満<br>他の項目に該当しない。 | 60%未満<br>出来形管理がやや不備である。   | 出来形管理が不備である。                                       |
| 出来形 | 共通 | <input type="checkbox"/> 出来形管理図または出来形管理表が適切にまとめられており、誤記載も少なく信頼できる。<br><input type="checkbox"/> 出来形測定において、不可視部分の出来形が写真で的確に確認できる。<br><input type="checkbox"/> 目的物の精度要求に対し、妥当な自社管理基準を設定して適切に管理している。<br><input type="checkbox"/> 自社の写真管理基準等を設定し(ない場合でも)、目的物を隠さず創意工夫を持って適切に管理している。(必須)<br><input type="checkbox"/> 出来形の形状・寸法が設計値(設計図書)を満足し、バラツキが少ない。<br><input type="checkbox"/> 出来形の性能・機能が設計値(設計図書)を満足し、バラツキが少ない。(性能発注工事、機械設備工事等に適用)<br><input type="checkbox"/> 出来形展開図等で2段書(設計・出来形)による比較がされるなど、みやすく工夫されている。<br><input type="checkbox"/> 接続部分等を含む不可視部分が、適切に施工されていることを写真で確認できる。<br><br>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。 |                              |                           | <input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 | <input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督員が改善請求を行った。 |

工事成績採点の審査項目表（標準型（土木用））

項目：出来形及び出来ばえ

<監督員>

| 種別   | 工種 | a   | b   | c   | d  | e  |
|--|----|---|---|---|--|--|
| 品質   | 共通 | <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、特にばらつきが少ない。 | <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 | <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が試験基準を満足し、a及びbに該当しない。<br><br>※ 品質管理項目がない工事。 | <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。<br><br><input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書による改善指示を行った。 | <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。<br><br><input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督員が改善請求を行った。 |
| ※ 品質管理資料による評価が困難な場合は、現地立会・試験結果等を総合的に判断して、a、b、c、d、e評価を行う。 |    |   |   |   |  |  |

工事成績採点の審査項目表（標準型(土木用)）

項目：難易度

<監督員>

| 種別             | 工種  | 区分   | 技術キーワード   | 具体的な評価技術力項目及び工事例   |
|----------------|---|--|---|--|
| 難易度            | 共通  | 施工規模の大きさへの対応   | <input type="checkbox"/> 1 対象構造物の高さ、延長、施工面積(断面積)、施工深度等の規模<br><input type="checkbox"/> 2 その他   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・その他</li> </ul>   |
|                |   | 構造物固有の難しさへの対応  | <input type="checkbox"/> 3 対象構造物の形状の複雑さ(土被り厚やトンネル線形等を含む)<br><input type="checkbox"/> 4 既設構造物の補強、撤去等特殊な工事<br><input type="checkbox"/> 5 その他                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地山強度が低い。また土被りが薄いため、FEM解析等の施工のための検討が必要な工事。</li> <li>・砂防工事等で現地調査に基づき、現地合わせの再設計と施工が必要な工事。</li> <li>・建築工事で官庁施設の総合耐震計画基準においてI類及びA類に属する工事</li> <li>・電気設備工事で官庁施設の総合耐震計画基準において甲類に属する工事</li> <li>・機械設備工事で官庁施設の総合耐震計画基準において甲類に属する工事</li> <li>・鉄道営業線に隣接した橋脚の耐震補強工事や河道内の流水部における橋脚撤去工事。</li> <li>・供用中の施設の改修工事等。</li> <li>・建築工事で耐震及び免震構造の工事</li> <li>・建築及び設備工事で敷地内又は周辺部の工作物、配管・配線等の大規模な移設、切り直しを行った工事</li> <li>・建築及び設備工事で仮設備等を設け、配管・配線等の盛替え等を必要とする改修工事</li> <li>・建築及び設備工事で休日・夜間作業が工程の60%以上を占める改修工事</li> <li>・その他、構造物固有の難しさへの対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事。</li> </ul> |
|                |   | 技術固有の難しさへの対応   | <input type="checkbox"/> 6 工種及び工法の特異性<br><input type="checkbox"/> 7 新工法(機器類を含む)及び新材料の適用<br><input type="checkbox"/> 8 NETISの評価試行方式を適用<br><input type="checkbox"/> 9 その他 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・施工場所や構造物の特異性に対処するための新技術、新工法を採用した工事。</li> <li>・パイロット工事。又は特異な試験フィールド工事で特許工法等の技術的に検討が必要な工事。</li> <li>・その他、コンピューターシミュレーション等が必要な設計や特殊な工法及び材料等を用いた工事。</li> <li>・VE提案された工法等が高度技術として評価できる場合。</li> <li>・NETISの評価試行方式を適用した工事。</li> <li>・その他、技術固有の難しさへの対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事。</li> </ul>  |
| 厳しい自然・地盤条件への対応 | <input type="checkbox"/> 10 湧水の発生、地下水の影響(地盤掘削時)<br><input type="checkbox"/> 11 軟弱地盤、支持地盤の状況<br><input type="checkbox"/> 12 河川内・海域・急峻な地盤条件下等及び工事用道路・作業スペース等の制約<br><input type="checkbox"/> 13 雨・雪・風・気温・波浪等の影響<br><input type="checkbox"/> 14 地すべり等の地質条件、急流河川での水流、海域での潮流等の影響、動植物等に対する配慮等<br><input type="checkbox"/> 15 その他 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川内の橋脚工事等で、地下水位が高く、ウエルポイント等の排水設備の他、大規模な山留め工法が必要な工事。</li> <li>・建築工事で地下水位が高く、ウエルポイント等の排水設備の他、大規模な山留め工法が必要な工事。</li> <li>・支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎の1本毎に地質調査を実施する他、支持地盤を確認しながら再設計した工事。</li> <li>・軟弱地盤上の緩速盛土のため、施工不可能日(待ち時間)が多く、施工機械の稼働率と施工台数等を的確に把握した工事。</li> <li>・急峻な地形のため、作業構台や作業床の設置が制限される工事。または命綱を使用する必要があった工事。(法面工は除く)</li> <li>・斜面上若しくは急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策施工後に、施工した工事。</li> <li>・建築工事で施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事。</li> <li>・海岸及び河川内のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事。</li> <li>・波浪や水位変動が大きいため、作業構台等を設置した工事。また、作業構台等の設置や作業工程から潜水夫を多用した工事。</li> <li>・冬期施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事。</li> <li>・建築工事で冬期施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事。</li> <li>・国立公園内での工事。またはイヌワシ等の貴重種の保護のため、施工時期が限定されたり、施工方法等が制限された工事。</li> <li>・その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事。</li> </ul> |   |  |

工事成績採点の審査項目表（標準型（土木用））

項目：難易度

<監督員>

| 種別  | 工種 | 区分                | 技術キーワード   | 具体的な評価技術力項目及び工事事例  |
|-----|----|-------------------|---|--|
| 難易度 | 共通 | 厳しい周辺環境等、社会条件への対応 | <input type="checkbox"/> 16 地中埋設物等の地中内の作業障害物<br><input type="checkbox"/> 17 工事の影響に配慮すべき鉄道営業線・供用中の道路・架空線・建築物等の近接物<br><input type="checkbox"/> 18 周辺住民等に対する騒音・振動の配慮<br><input type="checkbox"/> 19 周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮<br><input type="checkbox"/> 20 生活道路を利用する資機材搬入等の工事用道路の制約、路面覆工下・高架下等の作業スペース制約<br><input type="checkbox"/> 21 現道上で、特に交通規制及びその処理が伴う作業<br><input type="checkbox"/> 22 騒音・振動・水質汚濁以外の環境対策、廃棄物処理等<br><input type="checkbox"/> 23 その他 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 横断函渠工事や電線地中化工事等の現道開削工事で、ガス管・水道管・電話線等の移設が施工工程に大きく影響した工事。</li> <li>・ 鉄道営業線及び供用中道路を跨ぐ跨線橋又は跨道橋工事。</li> <li>・ 市街地等の家屋密集地での、鉄道又は道路をアンダーパスする工事。</li> <li>・ 市街地での夜間工事。</li> <li>・ DID地区での工事。</li> <li>・ 建築工事で大規模なテレビ電波障害対策を行った工事。</li> <li>・ 地元調整や環境対策の制約が特に多い工事。</li> <li>・ 場内に汚水処理装置を必要とする工事。</li> <li>・ 施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事。</li> <li>・ 供用中の道路（概ね日交通量4000台以上）で片側交互通行の交通規制をした工事。</li> <li>・ 供用中の道路での舗装及び修繕工事等。</li> <li>・ 供用している自専道等の路上工事で交通規制が必要な工事。</li> <li>・ 工事期間中の大半にわたって、規制標識類の設置・撤去を日々行い、交通開放を行った工事。</li> <li>・ 環境対策が工程に大きな影響を与えた工事。</li> <li>・ その他、周辺環境又は社会条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事。（左欄のその他に理由を記入。）</li> </ul> |
|     |    | 施工現場での対応          | <input type="checkbox"/> 24 災害等での臨機の処置<br><input type="checkbox"/> 25 施工状況（条件）の変化に対応した施工・工法等の自発的提案と対応等<br><input type="checkbox"/> 26 その他   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支障物件の移設が工程上クリティカルパスになり、工程の遅れを生じ、回復に機械、人員等の増強を行った工事。</li> <li>・ 工事に先立ち又は施工中で、監視・観測等の結果に基づき、工法変更を行った工事。</li> <li>・ 工程上、他工事の制約を受け、機械、人員の増強を行った工事。</li> <li>・ 工事の実施にあたり、各種の制約があり、工程的にも特に厳しく、施工の制限を受けた工事。</li> <li>・ 大気圧を越える気圧下の作業室での工事。</li> <li>・ 酸欠、有毒、可燃性ガス等の対策が必要な工事。地上・水面からOm以上（Om以下）での工事。</li> <li>・ 建築工事で特に困難な調整を要する他工事（近接工事）の請負者が複数ある工事</li> <li>・ 建築工事で外来者の多い施設で、作業範囲内に外来者・通行人等の動線がある工事</li> <li>・ その他、施工現場での対応で、特に評価すべき技術があると評価された工事。</li> </ul>  |

- ※1 高度技術を難易度として評価する。  
高度技術とは、工事全体を通して他の類似工事に比べて、特異な技術力を要する必要があった技術を評価するものである。
- ※2 創意工夫との二重評価はしない。  
高度技術は、「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本当に些細な工夫ではあるが非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルがあるが、創意工夫で評価しなかったものを対象とする。
- ※3 +13～0点の範囲での加点評価とする。
- ※4 1項目2点として評価する。

| 種別   | 工種 | 区分        | 創意工夫キーワード   |
|------|----|-----------|---|
| 創意工夫 | 共通 | 準備・後片づけ関係 | <input type="checkbox"/> 1 測量・位置出しにおける工夫<br><input type="checkbox"/> 2 現地調査方法の工夫<br><input type="checkbox"/> 3 その他  |
|      |    | 施工関係      | <input type="checkbox"/> 4 施工に伴う器具・工具・装置類の工夫又は、設備据付後の試運転調整の工夫<br><input type="checkbox"/> 5 コンクリート二次製品の利用等の代替材の適用と工夫及び工事加工製品を活用し副産物及び廃棄物の減少に工夫。又は、リサイクルに対する積極的な取り組み。<br><input type="checkbox"/> 6 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工関係の工夫<br><input type="checkbox"/> 7 部材・機材等の運搬・吊り方式等を含む施工方法等の工夫<br><input type="checkbox"/> 8 設備工事で、加工、組立等の工夫又は、電気工事の配線、配管等での工夫<br><input type="checkbox"/> 9 給排水・衛生設備工事等の配管・ポンプ類の凍結防止策、つなぎ等の工夫<br><input type="checkbox"/> 10 照明・視界確保等の工夫<br><input type="checkbox"/> 11 仮排水、仮道路、迂回路等の計画施工の工夫<br><input type="checkbox"/> 12 運搬車両・施工機械等の工夫<br><input type="checkbox"/> 13 支保工、型枠工、足場工及び仮橋、覆工版、山留め等の仮設工関係の工夫<br><input type="checkbox"/> 14 施工管理及び品質向上等の工夫<br><input type="checkbox"/> 15 建築工事でプレバブ工法等を採用し、工期短縮等の工夫<br><input type="checkbox"/> 16 建築工事で改修工事における仮設備の工夫<br><input type="checkbox"/> 17 その他 |
|      |    | 品質関係      | <input type="checkbox"/> 18 集計ソフト等の活用と工夫<br><input type="checkbox"/> 19 土工関係、設備関係、電気関係の工夫<br><input type="checkbox"/> 20 コンクリートの打設関係の工夫(材料、打設、養生、出来形・品質等)<br><input type="checkbox"/> 21 鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料の工夫<br><input type="checkbox"/> 22 配筋・溶接作業等に関する工夫<br><input type="checkbox"/> 23 建築関係で躯体工事の品質管理の工夫<br><input type="checkbox"/> 24 建築関係で材料の検査試験に関する工夫<br><input type="checkbox"/> 25 建築関係で施工の検査試験に関する工夫<br><input type="checkbox"/> 26 建築関係で品質試験方法の工夫<br><input type="checkbox"/> 27 その他  |
|      |    | 安全衛生関係    | <input type="checkbox"/> 28 安全仮設備等の工夫(落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等)<br><input type="checkbox"/> 29 安全教育、技術向上講習会、安全パトロール、安全帯使用等に関する工夫<br><input type="checkbox"/> 30 現場事務所、労働者宿舎等の居住空間及び設備等の工夫<br><input type="checkbox"/> 31 酸欠対策・有毒ガス・可燃ガスの処理。及び粉塵防止策や作業中の換気等々の工夫<br><input type="checkbox"/> 32 供用中の道路等の事故防止、一般車両突入時の被害軽減対策及び一般交通確保等のための工夫<br><input type="checkbox"/> 33 作業環境が厳しい現場での環境改善等の工夫<br><input type="checkbox"/> 34 建築工事で苦渋作業等の作業環境低減等の工夫<br><input type="checkbox"/> 35 ゴミの減量化、アイドリングストップの励行等の地球環境への工夫<br><input type="checkbox"/> 36 その他<br><input type="checkbox"/> 37 建災防等による建設従事者に対する安全衛生教育  |
|      |    | 施工管理関係    | <input type="checkbox"/> 38 盛土の締固、場所打ち杭や既成杭の施工高さ等の施工に関する工夫<br><input type="checkbox"/> 39 建築工事で出来形管理等に関する工夫<br><input type="checkbox"/> 40 施工計画書及び写真管理等の工夫(デジタル写真ソフトの活用等)<br><input type="checkbox"/> 41 出来形、品質との計測関係等の工夫。及び集計、管理図等の工夫<br><input type="checkbox"/> 42 CAD、施工管理ソフト、土量管理システム等の活用<br><input type="checkbox"/> 43 その他   |
|      |    | その他       | <input type="checkbox"/> 44 その他<br><input type="checkbox"/> 45 その他<br><input type="checkbox"/> 46 その他   |

- ※1 特に評価すべき創意工夫事例を評価する。  
 高度技術として評価するほどでもないが、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき便益があれば評価する。  
 「施工状況」「出来形及び出来ばえ」においても創意工夫は加点対象とするが、企業努力を引き立たせるため本審査項目でも評価する。
- ※2 難易度(高度技術)との二重評価はしない。  
 創意工夫は、「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本当に些細な工夫ではあるが非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルがあるが、本審査項目では軽微なものを対象とする。
- ※3 +7～0点の範囲での加点評価とする。
- ※4 1項目1点として評価する。

工事成績採点の審査項目表（標準型(土木用)）

項目：施工状況

<主幹及び副主幹>

| 種別  | 工種 | a   | b  | c           | d  | e                                       |
|---|----|---|--|-------------|--|---|
|   |    | 合計3点以上  | 合計1点以上   | 合計±0点       | 合計-1点以下  |   |
|   |    | 工程管理が非常に優れている。  | 工程管理がやや優れている。  | 他の項目に該当しない。 | 工程管理がやや不備である。  | 工程管理が不備である。                             |
| 工程管理  | 共通 | <input type="checkbox"/> 災害復旧工事及び施工条件の変更等による工期的な制約がある工事における工程管理<br>【加点(+1)】工程管理が優れていたため余裕をもって工事を完成(10%以上短縮)させた。<br>【減点(-1)】工程管理の不備から工期が遅れ、工期末の突貫工事等が行われた。 |  |             | <input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督員が文書による改善指示を行い工期限内に完成した。 | <input type="checkbox"/> 工期限内に完成できなかった。 |
| <input type="checkbox"/> 積極的な地元調整による工期限内の工事完了<br>【加点(+1)】地元及び関係機関との調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。<br>【減点(-1)】調整を怠ったことによるトラブルが原因で、工期末の突貫工事等が行われた。 |    |   |  |             |  |   |
| <input type="checkbox"/> 隣接する他の工事等との工程調整<br>【加点(+1)】隣接する他の工事等との工程調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。<br>【減点(-1)】工程調整を怠ったため、工程の遅れが生じトラブルが発生した。         |    |   |  |             |  |   |
| <input type="checkbox"/> 工程管理に係る積極的な取り組み<br>【加点(+1)】配置技術者が真剣かつ積極的に工期や工程について考える姿勢が見られた。<br>【減点(-1)】配置技術者が工期や工程について真剣に考える姿勢が見られない。                |    |   |  |             |  |   |
| <input type="checkbox"/> 地域住民に対する公共工事のイメージアップ<br>【加点(+1)】工程管理を適切に行ったことにより、休日や夜間の工事を回避できた。<br>【減点(-1)】工程管理を怠ったことにより、地域住民から苦情が生じた。                |    |   |  |             |  |   |
| <input type="checkbox"/> 工事施工箇所が広範囲に点在している場合における工程管理<br>【加点(+1)】工程管理を的確に行い、余裕をもって工事を完成(10%以上短縮)させた。<br>【減点(-1)】工程管理の不備から工期が遅れ、工期末の突貫工事等が行われた。   |    |   |  |             |  |   |
| ※ 選択した評価対象項目の加点(+1)、減点(-1)の合計で評価する。   |    |   | <input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督員が文書による改善指示を行い工期限内に完成した。 |             |  |   |

工事成績採点の審査項目表（標準型(土木用)）

項目：施工状況

<主幹及び副主幹>

| 種別   | 工種 | a   | b                                 | c           | d  | e   |
|--|----|---|-----------------------------------|-------------|--|---|
|  |    | 合計3点以上  | 合計1点以上                            | 合計±0点       | 合計-1点以下  |   |
|  |    | 安全対策が非常に優れている。  | 安全対策がやや優れている。                     | 他の項目に該当しない。 | 安全対策がやや不備である。  | 安全対策が不備である。   |
| 安全対策   | 共通 | <input type="checkbox"/> 建設労働災害、公衆災害の防止<br>【加点(+1)】建設労働災害、公衆災害の防止への努力が顕著である。<br>【減点(-1)】建設労働災害、公衆災害の防止への努力を怠り、事故や災害が発生した。 |                                   |             | <input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 |
| <input type="checkbox"/> 安全衛生管理体制の確立<br>【加点(+1)】労働安全衛生法や規則等に基づく安全衛生管理体制(安全衛生管理組織等)を確立し、組織的に取り組んでいる。<br>【減点(-1)】労働安全衛生法や規則等に基づく安全衛生管理体制が確立されていない。                   |    |   |                                   |             |  |   |
| <input type="checkbox"/> 安全管理に関する技術開発や創意工夫<br>【加点(+1)】安全管理に関する技術開発や創意工夫に取り組んでいる。   |    |   |                                   |             |  |   |
| <input type="checkbox"/> 安全協議会活動への積極的な取り組み<br>【加点(+1)】安全協議会が設置されている現場で、安全協議会活動に積極的に取り組むなどリーダーシップを発揮している。<br>【減点(-1)】安全協議会が設置されている現場で、安全協議会活動に度々欠席したり、活動への取組み状況が悪い。 |    |   |                                   |             |  |   |
| <input type="checkbox"/> 活発な安全衛生管理活動<br>【加点(+1)】安全衛生を確保するため、他の模範となるような活動に積極的に取り組んだ。<br>【減点(-1)】安全衛生管理活動への取組みが悪い。   |    |   |                                   |             |  |   |
| <input type="checkbox"/> 安全対策への取り組み<br>【加点(+1)】安全対策に係る取組みが地域等から評価された。  |    |   |                                   |             |  |   |
| ※ 選択した評価対象項目の加点(+1)、減点(-1)の合計で評価する。  |    |   | <input type="checkbox"/> 軽微な事故の発生 |             |  |   |
| ※ 工事事務について<br>・「軽微な事故」とは、都城市建設工事等入札参加者資格審査委員会の審議の結果、「口頭注意」又は「文書注意」の措置となったものをいう。<br>・「重大な事故」とは、都城市建設工事等入札参加者資格審査委員会の審議の結果、入札参加資格停止の措置となったものをいう。                     |    |   |                                   |             |  |   |



工事成績採点の考査項目表（標準型(土木用)）

項目：社会性等

<主幹及び副主幹>

| 種別   | 工種 | a  | b                        | c                     |  |  |
|------|----|--|--------------------------|-----------------------|--|--|
|      |    | 4項目以上該当<br>地域貢献が非常に優れている。  | 2項目以上該当<br>地域貢献がやや優れている。 | 該当項目なし<br>他の項目に該当しない。 |  |  |
| 地域貢献 | 共通 | <input type="checkbox"/> 河川等の水質汚濁防止や動植物の保全措置など、周辺環境への配慮に積極的に取り組んだ。<br><input type="checkbox"/> 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域の景観に合わせるなど、積極的に周辺地域との調和を図った。<br><input type="checkbox"/> 定期的に広報紙の配布や現場見学会等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。<br><input type="checkbox"/> 道路清掃などを積極的に実施し、地域に貢献した。<br><input type="checkbox"/> 地域が主催するイベントへ積極的に参加し、地域とのコミュニケーションを図った。<br><input type="checkbox"/> 災害時等において、地域への支援又は行政等による救援活動への積極的な協力を行った。<br><input type="checkbox"/> 作業時間(交通制限)を商店等の地域経済活動や児童の登下校時間帯に配慮して調整を行った。<br><input type="checkbox"/> その他(上記以外で評価すべき取り組みについて具体的に記述する。) |                          |                       |  |  |

工事成績採点の審査項目表（標準型（土木用））

項目：施工状況

<検査員>

| 種別                               | 工種 | a   | b             | c           | d  | e           |   |  |
|----------------------------------|----|---|---------------|-------------|--|-------------|---|--|
|                                  |    | 90%以上   | 80%以上90%未満    | 60%以上80%未満  | 60%未満  |             |   |  |
|                                  |    | 施工管理が優れている。   | 施工管理がほぼ優れている。 | 他の項目に該当しない。 | 施工管理がやや不備である。  | 施工管理が不備である。 |   |  |
| 施工管理                             | 共通 | <input type="checkbox"/> 工事請負契約書約款第18条第1項第1号から第5号に係わる設計図書の照査を行い、照査報告書及び打合せ簿等で監督員の確認を受けて施工している。<br><input type="checkbox"/> 施工計画書は、着手前に提出され、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっている。（記載漏れ・誤りの多いものはマイナス評価とする。）<br><input type="checkbox"/> 施工計画書（変更を含む）及び打合せ簿と現場の施工方法が一致している。<br><input type="checkbox"/> 施工体制に関して、作業分担と責任の範囲が施工計画書等で確認でき、現場の施工体制と一致している。<br><input type="checkbox"/> 下請工事がある場合、施工体制台帳及び施工体系図が誤りなく作成されている。<br><input type="checkbox"/> 使用材料等の二次製品使用願い及び品質保証書等に期限切れや漏れ等の不備がなく、適切に整理されている。<br><input type="checkbox"/> 使用材料は、品質を損なわないように適切に保管されている。<br><input type="checkbox"/> 品質確保のための対策など施工に関する独自の工夫がみられる。<br><input type="checkbox"/> 仕様書及び監督員指示に従い、段階確認、立会いの申請が適切な時期に行われている。<br><input type="checkbox"/> 各種管理記録・工事記録等の整備が、日常的に的確に行われている。<br><input type="checkbox"/> 建設廃棄物の処分手続きに問題がなく、リサイクル等への取り組みが適切になされている。<br><input type="checkbox"/> 建設退職共済制度の主旨を理解し、証紙の配布について受払簿の写し等で報告している。<br><input type="checkbox"/> 社内検査基準及びチェックシート等が作成され、適切に実施している。（表面的な社内検査は評価対象外とする。）<br><input type="checkbox"/> 建設業許可票など現場掲示物を適切な場所に掲示している。<br><input type="checkbox"/> 関係書類及び資料の整理がよい。<br><input type="checkbox"/> 工事写真等の記録の整理に工夫がみられる。<br><input type="checkbox"/> 検査員の質問に対し、現場代理人及び主任技術者が的確に工事内容等の説明を行った。 |               |             | <input type="checkbox"/> 施工管理について、監督員が文書による改善指示を行った。 |             | <input type="checkbox"/> 施工管理について、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 |  |
| ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率（%）で評価する。 |    |   |               |             |  |             |   |  |

工事成績採点の審査項目表（標準型（土木用））

項目：出来形及び出来ばえ

<検査員>

| 種別                               | 工種 | a   | b              | c           | d   | e            |  |  |
|----------------------------------|----|---|----------------|-------------|---|--------------|--|--|
|                                  |    | 90%以上   | 80%以上90%未満     | 60%以上80%未満  | 60%未満   |              |  |  |
|                                  |    | 出来形管理が適切である。  | 出来形管理がほぼ適切である。 | 他の項目に該当しない。 | 出来形管理がやや不備である。  | 出来形管理が不備である。 |  |  |
| 出来形                              | 共通 | <input type="checkbox"/> 出来形管理図または出来形管理表に適切にまとめられており、誤記載も少なく信頼できる。<br><input type="checkbox"/> 出来形測定において、不可視部分の出来形が写真で的確に確認できる。<br><input type="checkbox"/> 目的物の精度要求に対し、妥当な自社管理基準を設定し、適切に管理している。<br><input type="checkbox"/> 自社の写真管理基準等を設定し（しない場合でも）、目的物を隠さず創意工夫を持って適切に管理している。（必須）<br><input type="checkbox"/> 出来形の形状・寸法が設計値（設計図書）を満足し、ばらつきが少ない。<br><input type="checkbox"/> 出来形の性能・機能が設計地（設計図書）を満足し、ばらつきが少ない。（性能発注工事、機械設備工事等に適用）<br><input type="checkbox"/> 接続部分を含む不可視部分が、適切に施工していることを写真で確認できる。 |                |             | <input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 |              | <input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。 |  |
| ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率（%）で評価する。 |    |   |                |             |   |              |  |  |

工事成績採点の審査項目表（標準型（土木用））

項目：出来形及び出来ばえ

<検査員>

| 種別   | 工種   | a  | b   | c                         | d  | e   |
|------|--|--|---|---------------------------|--|---|
|      |  | 90%以上<br>品質管理が適切である。   | 80%以上90%未満<br>品質管理がほぼ適切である。                     | 60%以上80%未満<br>他の項目に該当しない。 | 60%未満<br>品質管理がやや不備である。                               | 品質管理が不備である。                                     |
| 品質   | 現場打ち擁壁工事<br>コンクリート舗装工事<br>コンクリート構造物工事  | <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格が確認できる。<br><input type="checkbox"/> コンクリート打設時の供試体を当該現場と確認できる形で採取し、また強度・スランプ・空気量等の試験結果に問題がない。<br><input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に配慮し、運搬時間や打設時の投入高さ等、適切に施工している。（寒中及び暑中コンクリート等を含む）<br><input type="checkbox"/> 締固時のバイブレーターの機種及び施工方法や養生方法及び養生日数等が適切に行われている。<br><input type="checkbox"/> 型枠、支保工が堅固に設置され、取り外し時のコンクリート強度（最低5N以上）も適正に管理されている。<br><input type="checkbox"/> 鉄筋の規格がミルシートで確認でき、引張・曲げ強度が試験値で確認できる。また、鉄筋の保管管理も適正でさびもない。<br><input type="checkbox"/> 開口部に対し、適切に補強鉄筋が配置されている。<br><input type="checkbox"/> 取り上げ寸法が写真管理され、かつマーキングを行っている。また、水抜きパイプ及び目地間隔も適切である。<br><input type="checkbox"/> 鉄筋の組立・加工が適正（適切な結束及び必要定着長の確保）であることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 圧接及び溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。コンクリート舗装においてはタイバー等の保管管理が適正である。<br><input type="checkbox"/> スペースの材質が適正である。また、スペースを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保している。<br><input type="checkbox"/> 埋め戻しの施工にあたり標尺等を設置し、施工厚及び転圧が適切に施工され、転圧状態もよい。 |   |                           | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
| 法面工事 | <p>【共通】</p> <input type="checkbox"/> 施工基面に浮石等がなく、平滑に仕上げられている。<br><input type="checkbox"/> 湧水調査が行われ、水抜きパイプ等の設置位置に反映されている。<br><p>【種子吹付工、客土吹付工、厚層基材吹付工関係】</p> <input type="checkbox"/> 土壌試験を実施し、施工に反映している。<br><input type="checkbox"/> ネット等の重ね幅が10cm以上確保されている。<br><input type="checkbox"/> 金網を固定するアンカーピンの施工本数、ピッチ、材質等が適切である。<br><input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等である。また吹付け厚さによって、必要な場合2層以上に分けて行っているのが確認できる。 <p>【コンクリート又はモルタル吹付工関係】</p> <input type="checkbox"/> 金網等の重ね幅が10cm以上確保されている。<br><input type="checkbox"/> 金網を固定するアンカーピンの施工本数、ピッチ、材質、施工長さ等が適切である。<br><input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等である。<br><input type="checkbox"/> 供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 跳ね返り材料が適切に処理されている。<br><input type="checkbox"/> 水抜きパイプにモルタル等のつまりがない。 <p>【現場打法枠工関係】</p> <input type="checkbox"/> アンカーの施工長さが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 現場養生が適切に行われている。<br><input type="checkbox"/> 供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 枠内に空隙がないことが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 層間にはく離がないことが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 跳ね返り材料が適切に処理されている。  | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。   | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |                           |  |   |
| 鋼橋工事 | <p>【工場製作関係】</p> <input type="checkbox"/> 鋼材の種別を、品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 孔空けによって生じたまくれが削り取られているなど、きめ細やかに製作していることが、確認できる。<br><input type="checkbox"/> 欠陥部の発生が見られないことが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 塗装作業にあたり、塗装面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 素地調整の場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理が、写真等で確実に空であることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 塗装の品質が出荷証明書、塗装成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 <p>【架設関係】</p> <input type="checkbox"/> ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーション(検定、調整等)を実施していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 高力ボルトの締め付けを中心から外側に向かって行っていることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 高力ボルトの品質が証明書類で確認できる。<br><input type="checkbox"/> 支承の据付で、コンクリート面のチップング及び仕上げ面に水切勾配がついていることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 架設にあたって、部材の応力と変形等を十分に検討していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 架設に用いる仮設備及び架設用機材について、品質、性能が確保できる規模及び強度を有していることを確認している。<br><input type="checkbox"/> 現場塗装部のケレン及び膜厚管理を適切に行っていることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 現場塗装において、温度、湿度、風速等の確認を行っていることが確認できる。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。   | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |                           |  |   |

工事成績採点の考査項目表（標準型（土木用））

項目：出来形及び出来ばえ

<検査員>

| 種別       | 工種   | a  | b   | c  | d                                       | e   |  |
|----------|--|--|---|--|---|---|--|
|          |  | 90%以上  | 80%以上90%未満  | 60%以上80%未満   | 60%未満                                   |   |  |
|          |  | 品質管理が適切である。  | 品質管理がほぼ適切である。   | 他の項目に該当しない。  | 品質管理がやや不備である。                           | 品質管理が不備である。   |  |
| 品質       | 舗装工事   | <p>【路床・路盤工関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 流用土を使用する場合は、土質試験を行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 路床・路盤工のブルフローリングを行い、ベンケルマンビームまたは平板載荷試験等で確認を行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 地下水対策及び雨水対策が講じられ、適切な作業環境で施工している。</li> <li><input type="checkbox"/> 路床・路盤の締固め時に、散水等により含水比調整を行い、最適含水比での転圧を行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 路床・路盤材料の種類及び品質が設計図書及び仕様書の規格を満足している。</li> <li><input type="checkbox"/> 路床・路盤の締固め施工厚は標尺等により仕様書どおりの施工が確認でき、写真から転圧状態の良さが伺える。</li> <li><input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固め等が適切に行われている。</li> <li><input type="checkbox"/> 上層路盤に過度の材料分離が見られない。</li> </ul> <p>【アスファルト舗装工関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 設計図書に基づく混合物の配合設計及び試験練りが行われており、適切な混合物の規格が確認できる。（アスファルト混合物の事前審査制度の適用工事は除く。）</li> <li><input type="checkbox"/> 混合物の温度管理が、出荷時・到着時・舗設時で整理・記録されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 舗設後、直ちに供用開始する必要がある現場で、路面温度が50℃以下であることを確認し、適切に交通開放している。</li> <li><input type="checkbox"/> プライムコート・タックコートがむらなく散布され、目地及び接合部へも刷毛等で丁寧に塗布されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 舗装各層の継目（縦・横継目）が仕様書に定められた数値以上ずらしており、また端部転圧も問題ない。</li> <li><input type="checkbox"/> 気象条件に適した混合物の運搬方法（シート保護等）や舗設作業（締め固め等）への配慮が行われている。</li> <li><input type="checkbox"/> 初期転圧を品質証明書で示された最適温度で施工している。</li> </ul> |   |  | <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。</p> | <p><input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> | <p><input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。</p> |
| 可動ゲート工事  | <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 品質や性能確保のための製作着手前の技術検討が充分実施され、内容が確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 材料の品質照合がミルシート等（現物照合を含む）で確認でき、満足している。</li> <li><input type="checkbox"/> 部品の品質、性能が証明書等で確認でき、満足している。</li> <li><input type="checkbox"/> 機器の品質、機能、性能が成績書等で確認でき、満足している。</li> <li><input type="checkbox"/> 溶接管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥がなく満足している。</li> <li><input type="checkbox"/> 塗装管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥がなく満足している。</li> <li><input type="checkbox"/> 製品の機能、性能管理が設計図書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥がなく満足している。</li> <li><input type="checkbox"/> 操作制御関係が、所定の機能を有しているとともに、必要な安全装置、保護装置の機能が確認でき、満足している。</li> <li><input type="checkbox"/> 設備の総合性能が設計図書のとおり確保され、内容が確認でき、満足している。</li> </ul> | <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。</p>  | <p><input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> | <p><input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。</p> |   |   |  |
| 橋・伸縮装置工事 | <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 伸縮装置の位置決定は、既存位置と施工時の温度・設計時の標準温度を検討し決定している。</li> <li><input type="checkbox"/> 既設撤去においては、既設橋台パラペット及び主桁に影響を与えないよう慎重に施工している。</li> <li><input type="checkbox"/> 伸縮装置工の漏水防止方法については、設計図書に適合したものとなっている。</li> <li><input type="checkbox"/> 基層に先立ち、拡幅縦目地へのクラック防止が適切に施工されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 上部表層が設計厚を確保できるように、レベリング層としての基準高管理が適切に行われている。</li> <li><input type="checkbox"/> 適切な橋面排水を確保するため、橋面全体にプライマー塗布や排水処理が行われている。</li> </ul>  | <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。</p>  | <p><input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> | <p><input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。</p> |   |   |  |
| 床版補強工事   | <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 施工に先立ち、床版のクラック状況を調査して監督員と協議を行い、施工漏れのない補修工事となっている。</li> <li><input type="checkbox"/> 床版接着面の不陸調整として、サンダーケレンでレイタンス・遊離石灰を除去し、シンナー等で清掃している。</li> <li><input type="checkbox"/> アンカーボルト取付け穴の位置が鋼板と一致するように、正確にマーキングして施工している。</li> <li><input type="checkbox"/> 鋼板とコンクリートとの接合面にある油脂及びゴミ等をアセトン等により適切に処理している。</li> <li><input type="checkbox"/> シールした樹脂の接着力が注入圧力に耐えられるまで養生しているとともに、隙間に十分ゆきわたるように施工している。</li> <li><input type="checkbox"/> 鋼板塗装は塗装面が乾燥状態で施工していることが確認でき、設計図書どおりの塗膜厚が確保されている。</li> </ul>   | <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。</p>  | <p><input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> | <p><input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。</p> |   |   |  |

工事成績採点の審査項目表（標準型（土木用））

項目：出来形及び出来ばえ

<検査員>

| 種別 | 工種      | a  | b             | c           | d  | e   |
|----|---------|--|---------------|-------------|--|---|
|    |         | 90%以上  | 80%以上90%未満    | 60%以上80%未満  | 60%未満  |   |
|    |         | 品質管理が適切である。  | 品質管理がほぼ適切である。 | 他の項目に該当しない。 | 品質管理がやや不備である。  | 品質管理が不備である。                                     |
| 品質 | 小規模植栽工事 | <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 土壌硬度試験及び土壌試験(PH)を実施し、施工に反映している。</li> <li><input type="checkbox"/> 支柱等による風対策と水鉢による活着管理が適切に行われている。</li> <li><input type="checkbox"/> 樹木等に損傷、はちくずれ等がなく、保護養生が適切に行われている。</li> <li><input type="checkbox"/> 樹木等の生育に害のあるものは除去されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 植付け時期に配慮した、余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れが行われている。</li> <li><input type="checkbox"/> 肥料が直接樹木の根にふれないよう、根の外周部に均一に施肥されている。</li> </ul> <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。</p>   |               |             | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
|    | 植栽工事    | <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 茎・葉等が充実しており、生氣ある状態で育つことが予想できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 土壌硬度試験及び土壌試験(PH)を実施し、施工に反映させている。</li> <li><input type="checkbox"/> 根系の発達が良く四方に均等に配分され、根鉢範囲に細根が多く、乾燥していない。</li> <li><input type="checkbox"/> 鉢崩れのないよう根巻やコンテナ等により固定されている。また、ふるい堀りでは、特に根部の養生を十分にするなど（乾き過ぎていない）根の健全さが保たれ、損傷がない。</li> <li><input type="checkbox"/> 正常な葉形、葉色、密度（着葉）を保ち、しおれ（変色、変形）や軟弱葉がなく、生き生きしている。</li> <li><input type="checkbox"/> 樹皮に傷がないか、その痕跡がほとんど目立たず、正常な状態を保っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 徒長枝がなく、樹種の特性に応じた枝の姿を保ち、枯損枝、枝折れ等の処理、及び必要に応じ適切な剪定が行われている。</li> <li><input type="checkbox"/> 病害虫の発生がない。過去に発生したことのあるものにあつては、発生が軽微で、その痕跡がほとんど認められないよう育成されたものである。</li> </ul> <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。</p>   |               |             | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
|    | 標識工事    | <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 各種設置基準等の規定に従い適切に施工している。</li> <li><input type="checkbox"/> 材料の品質規格証明書が整備されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 材料等において、共通仕様書記載の規格に従い適切に施工している。</li> </ul> <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。</p>   |               |             | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
|    | 塗装工事    | <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。（重ね塗りの場合も含む）</li> <li><input type="checkbox"/> ケレンが入念に実施され、ケレン作業後4時間以内に塗装を開始していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工時の天候、気温及び湿度等の条件が整理・記録されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 塗料を使用前に攪拌し、容器底部に顔料沈殿をしていないことが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 塗膜に有害な付着物がない。</li> <li><input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理が、写真等で確実に確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 1層毎に塗膜の厚さ管理がされている。</li> </ul> <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。</p>   |               |             | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
|    | 特殊法面工事  | <p>【水抜き土留め柵工】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられている。</li> <li><input type="checkbox"/> 計画床掘面は凹凸がないように十分に締固め、周辺地盤を乱さないように施工している。</li> <li><input type="checkbox"/> 法面最下段の位置は法尻に近い位置に設置され、これを基準に所定のスパンで法肩に向かって施工している。</li> <li><input type="checkbox"/> 柵ドレーン集水口が同一方向になるように設置され、目詰まり防止フィルターで覆い、端末は土砂流入防止がされている。</li> <li><input type="checkbox"/> 柵ドレーン集水口が法肩に向いていることが確認できる。また止杭が法表面に突き出していない。</li> <li><input type="checkbox"/> 埋戻しの仕上がり厚は標尺等により管理され、写真から転圧状態の良さがうかがえる。</li> </ul> <p>【水平集・排水ボーリング工】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 集水管上部に吸出し防止材を敷設し、十分に締固めながら埋戻しを行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 水平集・排水用パイプ打込みに際して、打込み架台が滑動及び沈下しないように措置している。</li> </ul> <p>【縦排水工】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 縦排水工において、位置決定が適切であるとともに、床掘面は凹凸がないように整形され転圧されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 縦排水工の溝底部には法肩から法尻の端末パイプまで、ポリシート等を切断せずU字状に敷設し、水漏れ対策をしている。また、溝底部に敷設されたシートの最下端部は集水管を包み込みながら、端末パイプに挿入されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 集・排水（フィルター）パイプの打込み勾配が、所定の勾配で打込まれているか確認しながら施工している。</li> <li><input type="checkbox"/> 集・排水パイプ打込み完了後、パイプ内の土砂等を清掃してから、所定の長さのドレーンを挿入している。</li> </ul> <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。</p> |               |             | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |

工事成績採点の審査項目表（標準型（土木用））

項目：出来形及び出来ばえ

<検査員>

| 種別 | 工種       | a   | b             | c           | d  | e   |
|----|----------|---|---------------|-------------|--|---|
|    |          | 90%以上   | 80%以上90%未満    | 60%以上80%未満  | 60%未満  |   |
|    |          | 品質管理が適切である。   | 品質管理がほぼ適切である。 | 他の項目に該当しない。 | 品質管理がやや不備である。  | 品質管理が不備である。                                     |
| 品質 | 区画線等設置工事 | <input type="checkbox"/> 各種設置基準等の規定に従い適切に施工している。<br><input type="checkbox"/> 材料の品質規格証明書が整備されている。<br><input type="checkbox"/> 材料等において、共通仕様書記載の規格に従い適切に施工している。<br><br>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。  |               |             | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
|    | 盛土、築堤等工事 | <input type="checkbox"/> 湧水及び雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施している。<br><input type="checkbox"/> すべりが懸念される盛土部では、段切り等が施工前に適切に行われている。<br><input type="checkbox"/> 土羽面の土質が、植生に配慮した土で盛土されている。<br><input type="checkbox"/> 降雨や地下水の影響を受けないように工夫し、かつ最適含水比を考慮し、締固めを適切な条件で施工している。<br><input type="checkbox"/> 筋芝及び張芝または種子吹付等を適切に行っている。<br><input type="checkbox"/> 構造物周辺の締め固め等の処理が適正に行っている。<br><input type="checkbox"/> 使用材料の土質（必要に応じてCBR試験等）及び含水比を確認の上、施工している。<br><input type="checkbox"/> 現場条件（幅・密度等）に適した機械で施工し、また標尺を利用するなど1層毎の転圧状態も良好である。<br><input type="checkbox"/> 法面に有害なクラックや損傷部がない。<br><input type="checkbox"/> 狭幅部の転圧困難な箇所の施工は、監督員と協議し、指示を受けて施工している。<br><br>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。  |               |             | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
|    | 切土工事     | <input type="checkbox"/> 雨水による侵食・崩壊が起こらないように、排水対策を実施している。<br><input type="checkbox"/> 雨水による侵食等の拡大を防止するため、小段及び小段排水を適切に設置している。<br><input type="checkbox"/> 置換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工している。<br><input type="checkbox"/> 掘削位置を確定するため入念な測量を行い、丁張に従った施工がされ、その精度も高く過掘りも少ない。<br><input type="checkbox"/> 張芝または種子吹付等を適切に行い、法面の緑化を図っている。<br><input type="checkbox"/> 掘削面において湧水等の調査を行い、報告している。<br><input type="checkbox"/> 大規模な掘削においては、掘削面の安定確認調査を行い、報告書を提出している。<br><input type="checkbox"/> 切土面にある切株の除去において、法面に影響を与えないように協議して施工している。もしくは原形復旧されている。<br><input type="checkbox"/> 法面に有害なクラックや損傷部がない。<br><br>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。   |               |             | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
|    | 環境護岸工事   | <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられている。<br><input type="checkbox"/> 裏込材、胴込めコンクリートの充てんまたは締固めが充分で、空隙が生じていない。<br><input type="checkbox"/> 環境保全ブロック、石積（張）、法枠、かごマット等の材料がみ合わせ又は連結が適切で、裏込材の吸い出しの恐れがない。<br><input type="checkbox"/> 護岸工の端部や曲線部の処理・強度・水密性が適切である。<br><input type="checkbox"/> ブロック裏込及び池床部の遮水シート及び吸出し防止マット等が所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が適切である。<br><input type="checkbox"/> 池床地盤改良で固結材料の品質管理を適切に行っていることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 池床砂利が適切な粒度により、密実に施工されていることが確認できる。<br><br>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。   |               |             | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
|    | 地覆・高欄工事  | <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格が確認できる。<br><input type="checkbox"/> コンクリート打設時の供試体を当該現場と確認できる形で採取し、強度・スランプ・空気量等の試験結果に問題がない。<br><input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に配慮し、運搬時間や打設時の投入高さ等適切に施工している。（寒中及び暑中コンクリート等を含む。）<br><input type="checkbox"/> 締固めバイブレーターの機種及び施工方法、養生方法及び養生日数等が適切に行われている。<br><input type="checkbox"/> 型枠及び支保工が堅固に設置され、取り外し時のコンクリート強度（最低5N以上）も適正に管理されている。<br><input type="checkbox"/> 鉄筋の規格がミルトで確認でき、引張・曲げ強度が試験値で確認できる。また、保管管理も適切で過度のさびもない。<br><input type="checkbox"/> 鉄筋の組立・加工が適正（適切な結束及び必要定着長の確保）であることを確認できる。<br><input type="checkbox"/> 圧接及び溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行い、圧接及び溶接施工上の注意事項（共通仕様書）が守られている。<br><input type="checkbox"/> 既設コンクリートの取壊しにあたり、カッター及び取壊しが丁寧に施工され、既設コンクリート及び鉄筋に影響がない。<br><input type="checkbox"/> 既設コンクリート及び鉄筋の接合部において、適切な清掃等の処理が行われ、接続不良の懸念がない。<br><input type="checkbox"/> 高欄の設置にあたり、ボルトの締付けが適正でガタツキがない。また、締付けトルクの管理も行っている。<br><input type="checkbox"/> スペーサーの材質が適正である。また、スペーサーを適切に設置し、鉄筋のかぶりを確保している。<br><input type="checkbox"/> 足場等の指定仮設が設計図書どおり施工されている。また、高所作業においては安全帯を確実に着用している。<br><br>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。 |               |             | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |

工事成績採点の審査項目表（標準型（土木用））

項目：出来形及び出来ばえ

<検査員>

| 種別 | 工種          | a  | b                           | c                         | d  | e   |
|----|-------------|--|-----------------------------|---------------------------|--|---|
|    |             | 90%以上<br>品質管理が適切である。   | 80%以上90%未満<br>品質管理がほぼ適切である。 | 60%以上80%未満<br>他の項目に該当しない。 | 60%未満<br>品質管理がやや不備である。                               | 品質管理が不備である。                                     |
| 品質 | 基礎工事(地盤改良等) | <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 杭に損傷及び補修痕がない。</li> <li><input type="checkbox"/> 杭の打止め管理方法または場所打ち杭の施工管理方法等が整備され、かつ記録が確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 杭の打込み、埋込み等において、水平度、安全度、鉛直度等(JIS A7201の規定)が確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 溶接の品質管理に関して仕様書(共通仕様書、共通編3-4-4)に定められた事項が確認できる。</li> </ul> <p>【場所打杭】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 場所打杭についてトレミー管をコンクリート内に2m以上入れて施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度、比重等が適切に管理されている。</li> </ul> <p>【深層杭】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> ライナープレートの組立にあたって、偏心と歪みが少なくなるよう配慮されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 裏込材注入の圧力等が施工記録により確認できる。</li> </ul> <p>【地盤改良】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 改良材料の品質管理を適切に行っていることが記録で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 深層混合処理の打込記録等から、仕様書に定められている事項が確認できる。</li> </ul> <p>【直接基礎】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 栗石や砕石とのかみあい期待できるように、ある程度の不陸を残して基礎底面地盤を整地して、その上に栗石や砕石を配置している。</li> <li><input type="checkbox"/> 均しコンクリートと基礎地盤が十分かみあうように、基礎底面地盤にはある程度の不陸を残し、平滑な面としないよう配慮している。</li> </ul> <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。</p> |                             |                           | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
|    | 防護柵工事       | <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 各種設置基準等の規定に従い適切に施工している。</li> <li><input type="checkbox"/> 材料の加工(曲げ・切断・溶接等)が、監督員と協議して実施している。</li> <li><input type="checkbox"/> ガードレール等設置において全てのボルトが適正に締付けされ、ガタツキもない。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリート基礎の規格・寸法が設計図書どおり、施工されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 打ち込み長(根入れ)が確保されている。</li> </ul> <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。</p>   |                             |                           | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
|    | L型擁壁類工事     | <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。</li> <li><input type="checkbox"/> JIS規格外品について、仕様書で規定する規格・品質を満足している。</li> <li><input type="checkbox"/> 基礎地盤の整形・清掃・湧水処理等が適切に実施されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 二次製品の保管・吊り込み・据え付け等に十分注意を払っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 土留め・ウェルポイント等の仮設が設計図書に基づき適切に施工・管理されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 基礎が安定地盤に設置されている。</li> </ul> <p>【プレキャスト擁壁類】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 裏込め・受動部埋め戻しにおいて、仕様書等で示す条件により締固めがされていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 製品寸法誤差が少なく、表面状況の良い製品(補修痕等がない)が使用されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 製品布設にきめ細やかな施工(目地仕上げ・構造物の段差状況等)がうかがえる。</li> <li><input type="checkbox"/> 基礎コンクリート及び天端(嵩上げを含む)コンクリートにクラック等がない。</li> <li><input type="checkbox"/> 根入れが設計図書どおり確保されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 接続地山の安定勾配確保及び構造物等への取付けが適切に施工されている。</li> </ul> <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。</p>   |                             |                           | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
|    | 地下排水工事(公園等) | <p>【資材等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 設計図書に定められた透水係数に適合したフィルター材が選定されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 設置位置は設計図書と現場状況を勘案して決定し、布設位置に不透水性層が存在することを確認している。</li> </ul> <p>【施工】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 排水管は変形・損傷を与えないよう適切に取り扱われていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 端部処理において、目詰まり等が発生しないように処理されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 設計図書に定められた勾配どおりに設置されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> フィルター材及び埋め戻しは0.2m以下に敷き均し、管に過度の荷重及び偏荷重がかからないように入念に施工している。</li> </ul> <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。</p>  |                             |                           | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |

工事成績採点の審査項目表（標準型（土木用））

項目：出来形及び出来ばえ

<検査員>

| 種別 | 工種         | a  | b                           | c                         | d  | e   |
|----|------------|--|-----------------------------|---------------------------|--|---|
|    |            | 90%以上<br>品質管理が適切である。   | 80%以上90%未満<br>品質管理がほぼ適切である。 | 60%以上80%未満<br>他の項目に該当しない。 | 60%未満<br>品質管理がやや不備である。                               | 品質管理が不備である。                                     |
| 品質 | 植栽張芝工事     | <p>【資材等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 病害虫・雑草等の混入がなく、葉茎が緻密に繁茂した優良品で定型の土付き野芝を使用している。</li> <li><input type="checkbox"/> 芝付けを行うにあたり、所定の勾配(2%以上)で不陸整正し、芝の生育に適した土を敷き均し締固めている。</li> </ul> <p>【施工】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 現場に搬入した芝は、速やかに芝付けしたことが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 長期間直射日光や雨等にさらしたり、積み重ねて枯死しないように養生している。また、不良品は使用していない。</li> <li><input type="checkbox"/> 張芝後、ローラー(250kg内外)転圧又は土羽板で叩いて培土と密着させていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 目地土及び衣土にはフルイを通した細土を用い、湿気のあるものを表面に均一(芝が半分隠れる程度)に散布している。</li> <li><input type="checkbox"/> 夏季における散水は、日中を避け、朝又は夕方に行ったことが確認できる。</li> </ul> <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。</p>   |                             |                           | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
|    | ブロック積・水路工事 | <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 基礎地盤の状態が良く、設置位置も安定箇所にあることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 掘削が丁寧なされ、過掘り等による地山の乱れがない。または整形・仕上げ等により問題ない状態へ復旧している。</li> <li><input type="checkbox"/> 水替え及び土留め等が適切に施工され、埋め戻し等の品質に悪影響を与えないように施工している。</li> <li><input type="checkbox"/> 二次製品の保管、吊り込み、据え付け等に十分注意を払っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 盛土・埋め戻しの施工にあたり標尺を設置し、適切な施工厚で転圧されている。</li> </ul> <p>【ブロック積類(環境保全ブロックは除く)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 胴込コンクリートのバイブレーター使用が適切で、適度にセメントミルクが染み出ている。(清掃を行っても可)</li> <li><input type="checkbox"/> 基礎コンクリート及び天端等の調整コンクリートにクラック等の欠陥がない。</li> <li><input type="checkbox"/> 材料の連結または、かみ合わせが適切で、かみ合わせ部にモルタル上塗りを行っていない。</li> <li><input type="checkbox"/> 水抜きパイプが適切に設置され、胴込コンクリート等による詰まりがない。</li> <li><input type="checkbox"/> 丁張を2重に設けるなど法勾配・裏込め材の厚さ確保のため細心の注意を払っている。また裏盛土を同時施工していない。</li> <li><input type="checkbox"/> 取り上げ寸法が写真管理され、かつマーキングされている。また目地間隔も適切である。</li> </ul> <p>【水路工】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 位置、方向、高さ、勾配等について前後の施設又は地形になじみように施工されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 不等沈下等による変形がなく、また地下水位の高い箇所では浮力対策も適切に講じられている。</li> <li><input type="checkbox"/> 呑口、吐口、集水樹等の取り付けコンクリートにクラック等の欠陥がない。</li> <li><input type="checkbox"/> 施設の流末は浸食、滞留等が生じないよう処理されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 射流排水路に施工された樹の流入・流出開口部は、余裕高さを考慮した断面となっている。</li> <li><input type="checkbox"/> 樹との接合部及び製品継目部には隙間及びズレがなく、目地モルタル等が適切に施工されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 既設構造物との接合部では、スムーズな断面変化及び適切な接合が行われている。</li> <li><input type="checkbox"/> インバート・落差工等により、損失水頭を軽減する措置が講じられている。</li> </ul> <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。</p> |                             |                           | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
|    | 補強土壁工事     | <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 盛土材料の土質が適正である。</li> <li><input type="checkbox"/> 盛土の締固めを適切な条件(人力・機械・巻き出し厚・敷均し・転圧作業等)で施工されている。</li> <li><input type="checkbox"/> プレキャスト製品・材料等の品質が工場管理資料よりの確に確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 現場条件に応じた排水対策が施工時を含め適切に講じられている。</li> <li><input type="checkbox"/> 盛土の締固め管理(密度等)が適切に実施されていることが確認できる。</li> </ul> <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。</p>  |                             |                           | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
|    | 取壊工事       | <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 分別、再資源化を適切に実施している。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工計画書に定められた計画により管理されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 廃棄物の処理が適切である。</li> <li><input type="checkbox"/> 請負者の管理記録が整備されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 不可視部分の写真記録が適正である。</li> </ul> <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。</p>   |                             |                           | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |



工事成績採点の審査項目表（標準型（土木用））

項目：出来形及び出来ばえ

<検査員>

| 種別          | 工種          | a  | b                           | c                         | d  | e   |
|-------------|-------------|--|-----------------------------|---------------------------|--|---|
|             |             | 90%以上<br>品質管理が適切である。   | 80%以上90%未満<br>品質管理がほぼ適切である。 | 60%以上80%未満<br>他の項目に該当しない。 | 60%未満<br>品質管理がやや不備である。                               | 品質管理が不備である。                                     |
| 品質          | ボックスカルバート工事 | <p><b>【共通及び基礎工】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 基礎地盤の良否判断が、監督員の段階確認等の承認を得ている。</li> <li><input type="checkbox"/> 指定仮設が施工計画書どおり施工されており、施工状況も適切である。また覆工板等による交通開放は、段階確認を受けている。</li> <li><input type="checkbox"/> 基礎地盤状況を均一に保ち、設計上要求される支持力を均等に得るための施工となっている。</li> <li><input type="checkbox"/> 湧水及び雨水処理が適切に行われ、ドライワークで施工している（湧水が発生している箇所のみ）</li> <li><input type="checkbox"/> 既設構造物に対して防護（壁ブロックの転倒防止等）を図るなど、臨機の措置により施工している。</li> </ul> <p><b>【敷設工】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> コンクリート基礎面を清掃し、空練モルタルを凹凸の無いように敷き固め、基礎の低い方から高い方に向かって敷設している。</li> <li><input type="checkbox"/> 二次製品等の吊り込み・据付等に十分注意を払っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 【通常継手型】 継手面の清掃後に引込み及び接合が行われ、継手部が正しく挿入されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 屈曲部等の製品接合が同等の強度を有する現場打ちで施工され、接合状態も問題ない。</li> <li><input type="checkbox"/> 【縦方向連結型】 縦締め用PC鋼材（鋼線）緊張においては、所定の引張力が得られていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 緊張において仮緊張後、本緊張を行うと共に、緊張の順序も守られている。</li> <li><input type="checkbox"/> 縦締め終了後、速やかにグラウト材を注入していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 鉄筋施工において共通仕様書及び指示書等に従った施工がされ、施工のよさが写真で確認できる。</li> </ul> <p><b>【埋戻工】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 標尺等により一層仕上り厚が管理され、かつ両側の進行状態が合っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 最適含水比に配慮し、適正な状態で転圧していることが確認できる。また、締固め機械も適切である。</li> <li><input type="checkbox"/> 圧縮性が小さくかつ透水性の良い材料を選定していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 湧水がある場合、適正な埋め戻し材の選定がされている。</li> </ul> <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。</p>   |                             |                           | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
| 下水道工事       |             | <p><b>【共通】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 掘削を丁寧に行い、過掘り等による地山の乱れがない。または整形・仕上げ等により問題ない状態へ復旧している。</li> <li><input type="checkbox"/> 水替え・土留め等が適切に行われ、埋め戻し部の品質や周辺に悪影響を与えないように施工している。</li> <li><input type="checkbox"/> 埋め戻しが標尺により施工厚を確認でき、適切な施工機械で施工し、転圧状態も良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 埋め戻し転圧困難部の水締めが監督員の承認を受けて実施している。また水の使用量も適切である。</li> <li><input type="checkbox"/> 高所作業における安全帯の着用を、確実に実施している。</li> <li><input type="checkbox"/> 指定仮設が施工計画書等に従い実施されており、施工状況も適切である。変更については監督員の承認を受けている。</li> <li><input type="checkbox"/> 覆工板等により交通開放する場合、開放前に段階確認を受けその安全性について承認を受けている。</li> </ul> <p><b>【開削工】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 管の挿入方法及び挿入量が適切に行われており、中心線の通りが良く、たわみ（小規模で数が少なければ対象外）もない。</li> <li><input type="checkbox"/> マンホールにおいて接合状態が良く、各部材にクラックもない。</li> <li><input type="checkbox"/> マンホールの足掛金物の位置・方向が適正であり、鉄蓋設置においては設置高及び設置勾配も適正である。</li> <li><input type="checkbox"/> インバートの形状・勾配等が適正で、表面の仕上げが適切である。</li> <li><input type="checkbox"/> 管下及び土留め引抜き跡等、施工困難箇所においても適正に埋戻しがされている。</li> <li><input type="checkbox"/> 管渠接合部・支管及びマンホール接合部等において、適切な処理及び管理がされ、接着剤等のはみ出し等がない。</li> <li><input type="checkbox"/> 公共樹設置において、地権者の承認を受けて施工しており、施工が適切で破損の恐れもない。</li> <li><input type="checkbox"/> マンホール等の吊り込み・据付において十分注意を払って施工している。</li> </ul> <p><b>【簡易推進工】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 漏水防止工が適切に行われていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 管布設高が精度管理されていることが確認でき、中心線の通りが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 裏込め注入材が適正であり、適切な配合のもと、設計注入量が注入されたことが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 鋼製カラー、ゴム輪などの継ぎ手材料が適正でかつ適切に施工されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 推進機の機能が土質に適合し、推進力のチェックなどが行われており、かつ安全であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 各段階毎に監督員の段階確認を受けまたは報告を行い、承認後に次の段階に進んでいる。</li> <li><input type="checkbox"/> 鏡切においては、事前に崩壊防止のための補強措置を行っている。</li> </ul> <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。</p> |                             |                           | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
| テニスコート人工芝工事 |             | <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 材料の品質証明が設計図書規定のものであることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 事前にクラック補修範囲を調査測量し、支障ある場合、監督員と協議し指示を得ている。</li> <li><input type="checkbox"/> クラック補修及び不陸調整は樹脂モルタルでコテ仕上げが行われ、表面が均一に施工されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 人工芝の割付・重ね合わせを十分検討し設置している。また、接着部分についてはジョイントテープを敷き、接着剤を均一に塗布し、シワが出ないようにシームされている。</li> <li><input type="checkbox"/> 接着部はローラ等で転圧し、十分養生されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 砂充填は空袋管理で散布量が確認できるとともに、スプレッダ等により散布・充填されている。</li> </ul> <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。</p>  |                             |                           | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |

工事成績採点の審査項目表（標準型（土木用））

項目：出来形及び出来ばえ

<検査員>

| 種別 | 工種                                | a   | b             | c           | d  | e   |
|----|-----------------------------------|---|---------------|-------------|--|---|
|    |                                   | 90%以上   | 80%以上90%未満    | 60%以上80%未満  | 60%未満  |   |
|    |                                   | 品質管理が適切である。   | 品質管理がほぼ適切である。 | 他の項目に該当しない。 | 品質管理がやや不備である。  | 品質管理が不備である。                                     |
| 品質 | 用排水管路工事                           | <input type="checkbox"/> ゴムリングの位置やジョイント間隔の確保ができていない。<br><input type="checkbox"/> 基礎と埋め戻し時にドライワークの確保ができていない。<br><input type="checkbox"/> 溶接や接着剤による接合が異物を除去し適正に施工されていない。<br><input type="checkbox"/> 掘削が丁寧になされ、過掘り等による地山の乱れがない。または整形・仕上げ等により問題ない状態へ復旧している。<br><input type="checkbox"/> 基礎砂・保護砂の敷き均し締め固め及び管下への突き込みが、適切な方法で施工されている。<br><input type="checkbox"/> 現場発生土が埋め戻し土として不適切な場合、監督員と協議して良質土で埋め戻している。<br><input type="checkbox"/> 埋め戻しが標尺で管理され、適切な機械で施工し、転圧状態も良い。<br><input type="checkbox"/> 管の接合においてボルトの締め付けが、規定トルクで適正に締付けられている。<br><input type="checkbox"/> 管水路の通水試験が適性に検査されており許容範囲内である。<br><input type="checkbox"/> 仕切弁や空気弁ボックスの天端と道路面のすりあわせが良い。  |               |             | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
|    |                                   | ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。  |               |             |  |   |
|    | 仮設工工事                             | <input type="checkbox"/> 仮設材にそり、ゆがみ、傷がない。<br><input type="checkbox"/> 仮設材の組立・設置が確実になされ、かつ点検も行われている。<br><input type="checkbox"/> 周辺環境（騒音・振動・地盤変動等）に配慮した施工方法で実施している。<br><input type="checkbox"/> 施工記録等により設計条件に適合した根入れ長で施工されていることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 排水を考慮し、良好な床付け面を確保している。  |               |             | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
|    |                                   | ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。  |               |             |  |   |
|    | 推進工主体工事                           | <input type="checkbox"/> 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。<br><input type="checkbox"/> マンホール等の吊り込み及び据付の際に常に十分な注意を払っている。<br><input type="checkbox"/> 滑剤注入量が適正であり、また裏込めモルタルにおいては適正な配合のもと、設計注入量が注入されたことが確認できる。<br><input type="checkbox"/> ゴム輪などの継手材料が適正でかつ適切に施工されていることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 推進機の機能が土質に適合し、推進力のチェック等が行われており、かつ安全であることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 管布設高の精度管理が行われており、中心線の通りも良い。<br><input type="checkbox"/> 推進月報（日施工量・施工精度管理）が提出され、沈下防止等に注意を払って施工している。<br><input type="checkbox"/> 漏水防止工が適切に行われている。<br><input type="checkbox"/> ライナープレート土留め材は、設計図書に適合したものを使用している。<br><input type="checkbox"/> 初期掘削及び二次掘削以降のプレート設置方法（1リング毎）が、適切に行われている。<br><input type="checkbox"/> 継目が縦方向に通らないように交互に設置され、ボルト締付けにおいて規定のトルクが確保されている。<br><input type="checkbox"/> 鏡切においては、事前に崩壊防止のための補強措置を行っている。 |               |             | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
|    |                                   | ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。  |               |             |  |   |
|    | 柵工・筋工・伏越工事                        | <input type="checkbox"/> 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。<br><input type="checkbox"/> 材料の品質規定証明書が整備されている。<br><input type="checkbox"/> 各工種の施工に適した法面整形、階段切付が行われており、障害となる根株、転石等が除去されている。<br><input type="checkbox"/> 雨水等による崩落を防止するため排水対策が実施されている。<br><input type="checkbox"/> 端部における地山とのすりつけにきめ細かい注意がうかがえる。<br><input type="checkbox"/> 植生の生育に配慮した丁寧な施工がなされている。<br><input type="checkbox"/> 植栽木に損傷や病害虫がなく、植栽、施肥の施工にあたり、苗木の生育に配慮した丁寧な施工がなされている。<br><input type="checkbox"/> 背面土の流失防止に配慮した施工がなされている。<br><input type="checkbox"/> 各工種の特徴、要点を理解し、施工に創意工夫が見られる。  |               |             | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
|    |                                   | ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。  |               |             |  |   |
|    | 木材木製品工事<br>（木ダム、木橋、<br>木土留、木流路工等） | <input type="checkbox"/> 木材・木製品の品質が良好で（曲り等がない）設計図書に基づき適切に施工されている。<br><input type="checkbox"/> 仕様書で定められている品質管理が実施されている。<br><input type="checkbox"/> 組み立て等のボルト等の締め付けが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 木材・木製品どうしの接続が良好で規定どおり施工されている。<br><input type="checkbox"/> 部品・材料等の品質及び形状が設計図書等との適切性が確認できる。<br><input type="checkbox"/> 木材・木製品による地山及び構造物との取り合いまたはすり付けは良好に施工されている。   |               |             | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
|    |                                   | ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。  |               |             |  |   |

工事成績採点の審査項目表（標準型（土木用））

項目：出来形及び出来ばえ

<検査員>

| 種別           | 工種   | a   | b             | c  | d  | e   |
|--------------|--|---|---------------|--|--|---|
|              |  | 90%以上   | 80%以上90%未満    | 60%以上80%未満   | 60%未満  |   |
|              |  | 品質管理が適切である。   | 品質管理がほぼ適切である。 | 他の項目に該当しない。  | 品質管理がやや不備である。  | 品質管理が不備である。                                     |
| 品質           | 土工事<br>(区画整理・農地造成)   | <input type="checkbox"/> 伐開・除根作業により発生した伐開木、根株、枝条等が適切に処理されている。<br><input type="checkbox"/> 指定仮設である仮設道路、仮排水路等は設計図書により施工・管理されており、その出来形についても適切に管理され設計以上であることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 雨水等による崩落、土砂の流亡等を防止するための排水対策が実施されている。<br><input type="checkbox"/> 表土のはぎ取りにあたり、雑物等が混入しないよう注意すると共に、表土の基礎への混入や逸散の防止等に細心の注意を払って施工されている。<br><input type="checkbox"/> 造成、整地等は設計図書等に基づき施工されており、仕上がりについては基準値を余裕をもって満足している。<br><input type="checkbox"/> 道路の造成にあたり、横断勾配、土質等について設計図書等に基づき適切に施工されており、仕上がりについては基準値を余裕をもって満足している。<br><input type="checkbox"/> 土壌改良に使用する肥料は法律に基づく保証票が確認でき、施工は仕様書等に基づき細心の注意を払っている。<br><input type="checkbox"/> 畦畔、溝畔等は設計図書に基づき施工されており、仕上がりは規格値を余裕をもって満足している。<br><br>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。 |               |  | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
| 路面切削オーバーレイ工事 | <input type="checkbox"/> 設計書に基づく混合物の配合設計及び試験練りが行われており、適切な混合物の規格が確認できる。<br><input type="checkbox"/> 混合物の温度管理が出荷時・到着時・舗設時で整理・記録され、また運搬時の品質保全対策(シート等)もされている。<br><input type="checkbox"/> 舗設後、直ちに供用開始する必要がある現場で、路面温度が50度以下であることを確認し、交通開放を適切に行っている。<br><input type="checkbox"/> プライムコート・タックコートがむらなく散布され、目地及び接合部へも刷毛等で丁寧に塗布されている。<br><input type="checkbox"/> 舗装各層の継目(縦・横継目)が仕様書に定められた数値以上ずらしてあり、また端部転圧も問題ない。<br><input type="checkbox"/> 初期転圧を品質証明書に示された最適温度で施工している。<br><input type="checkbox"/> 切削面に浮石やゴミ等の有害物を除去していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 切削面に異常が発見された場合、その処置方法について速やかに監督員と協議していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 路盤状態を表層に影響させないように、適切な処理が行われている。<br><input type="checkbox"/> 切削前に縦横断測量を行い、舗設計画図面を作成し、監督員の承諾を得て施工している。(必須)<br><input type="checkbox"/> 3点法または5点法による管理目標設定を行い施工している。(必須)<br><input type="checkbox"/> 既設道路内構造物(マンホール蓋等)の高さ診断を行い、摺りつけ可能及び不可能の報告を文書で行っている。<br><input type="checkbox"/> 施工区間(起点・終点)が適切である。または施工区間外の路面状態から起終点の見直し提案を文書で行っていれば、評価対象とする。<br><br>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。 |   |               | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。      |   |
| 剥ぎ取り舗装工事     | <input type="checkbox"/> 設計図書に基づく混合物の配合設計及び試験練りが行われており、適切な混合物の規格が確認できる。<br><input type="checkbox"/> 混合物の温度等管理が出荷時・到着時・舗設時で整理・記録され、また運搬時の品質保全対策(シート等)もされている。<br><input type="checkbox"/> 舗設後、直ちに供用開始する必要がある現場で、路面温度が50度以下であることを確認し、交通開放を適切に行っている。<br><input type="checkbox"/> プライムコート・タックコートがむらなく散布され、目地及び接合部へも刷毛等で丁寧に塗布されている。<br><input type="checkbox"/> 舗装各層の継目(縦・横継目)が仕様書に定められた数値以上ずらしてあり、また端部転圧も問題ない。<br><input type="checkbox"/> 初期転圧を品質証明書に示された最適温度で施工している。<br><input type="checkbox"/> 必要に応じて掻き起しを行い、適切な不陸整正を行っている。<br><input type="checkbox"/> 剥ぎ取り面に異常が発見された場合、その処置方法について速やかに監督員と協議している。<br><input type="checkbox"/> 剥ぎ取り前に縦横断測量を行い、舗設計画図面を作成し、監督員の承諾を得て施工している。<br><input type="checkbox"/> 施工区間(起点・終点)が適切である。または施工区間外の路面状態から起終点の見直し提案を文書で行っていれば評価対象とする。<br><input type="checkbox"/> 上層路盤に材料分離が見られない。<br><input type="checkbox"/> 2層以上の舗装の場合、舗装各層の継目(縦・横継目)が、仕様書で示された数値以上離隔を確保しており、また端部転圧も問題ない。<br><br>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。   |   |               | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。      |   |
| 舗装復旧工        | <input type="checkbox"/> 設計図書に基づく混合物の配合設計及び試験練りが行われており、適切な混合物の規格が確認できる。<br><input type="checkbox"/> 混合物の温度管理が出荷時・到着時・舗設時で管理・記録され、また運搬時の品質保全対策(シート等)も実施されている。<br><input type="checkbox"/> プライム及びタックコートがむらなく散布されている。また目地及び接合部等へも刷毛等で丁寧に塗布されている。<br><input type="checkbox"/> 上層路盤工でプルフローリングを行い、ベンケルマンビームまたは平板載荷試験等で確認を行っている。<br><input type="checkbox"/> 路床及び路盤の締固めが散水等により、含水比調整を行っている。<br><input type="checkbox"/> 上層路盤に過度の材料分離が見られない。<br><input type="checkbox"/> 路床及び路盤の締固めの仕上げ厚は標尺等で写真確認でき、写真から転圧状態の良さがうかがえる。<br><input type="checkbox"/> 舗装に影響が発生しないように、構造物周辺等の締固めを適切に施工している。<br><input type="checkbox"/> 初期転圧を品質証明書で示された最適温度で施工している。<br><input type="checkbox"/> 舗設後直ちに交通開放を必要とする現場で、路面温度が50℃以下であることを確認し、適切に交通開放したことが確認できる。<br><br>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。   |   |               | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。      |   |

工事成績採点の考査項目表（標準型（土木用））

項目：出来形及び出来ばえ

<検査員>

| 種別 | 工種      | a   | b             | c  | d   | e           |
|----|---------|---|---------------|--|---|-------------|
|    |         | 90%以上   | 80%以上90%未満    | 60%以上80%未満   | 60%未満   |             |
|    |         | 品質管理が適切である。   | 品質管理がほぼ適切である。 | 他の項目に該当しない。  | 品質管理がやや不備である。                                   | 品質管理が不備である。 |
| 品質 | 水管橋     | <input type="checkbox"/> 仕様書で定められている品質管理が実施されている。<br><input type="checkbox"/> 鋼材部品等の品質低下及び管内異物混入防止のため、適切に保管している。<br><input type="checkbox"/> 足場等の指定仮設が契約図書どおり施工されている。また高所作業においては安全帯を確実に着用している。<br><input type="checkbox"/> 据付基準線及び基準高は図面どおり施工されている。<br><input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行い、溶接施工上の注意事項（共通仕様書）が守られている。<br><input type="checkbox"/> 鋼材部品等の設置においてボルトの締付けが適正におこなわれ、ガタツキもない。<br><br>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。  |               | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |             |
|    | 軽微な林道工事 | <input type="checkbox"/> 伐開・伐根作業により発生した伐開木、根株、枝条等が適切に処理されている。（現場内処理の場合は地権者の承諾が必要）<br><input type="checkbox"/> 掘削土砂等は、過掘により床掘面を乱さないように丁寧に瀝き取り、適切な場所に搬出している。<br><input type="checkbox"/> 基礎地盤が急勾配の斜面では、法面の崩壊や不等沈下の防止のため段切等適切に施工している。<br><input type="checkbox"/> 盛土中の暗渠・管等の構造物のある場合は偏圧がかからないよう施工し、盛土内排水も適切に行っている。<br><input type="checkbox"/> 道路の線形及び路盤等は、地形条件を十分配慮し、適切に施工している。<br><input type="checkbox"/> 着手前に、崩壊、湧水及び土質変化等を調査確認し、適切な排水対策が実施されている。<br><input type="checkbox"/> 地すべり、崩壊等のある場合は、監督員に報告の上、適切な予防方により工夫され施工されている。<br><input type="checkbox"/> 使用機械により、立木等に損傷を与えず、また飛散の防止等にも注意を払って施工されている。<br><input type="checkbox"/> 排水施設は地形条件を十分配慮しており、流末及び自然放流先についても適切な位置を選定している。<br><input type="checkbox"/> 設計図書に従った法面勾配が確保され、法面の緑化も図られている。<br><br>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。 |               | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |             |
|    | 暗渠排水工事  | <input type="checkbox"/> 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。<br><input type="checkbox"/> 地区内の地表水及び地下水を排除しドライの状態に施工している。<br><input type="checkbox"/> 湧水調査に従い、導水管と暗渠排水管を適切に配置し、施工している。<br><input type="checkbox"/> 表土剥ぎ取り及び復旧が、仕様書及び設計図書により施工されている。<br><input type="checkbox"/> 暗渠排水工のドレーン材及び吸出し防止マットが、適切に施工されている。<br><input type="checkbox"/> 心土復旧のため、入念な転圧がされている。<br><input type="checkbox"/> 埋め戻しは埋め戻し材の含水比を確認し、標尺による施工厚の確認を行いながら、適切な締固め機械で転圧している。<br><input type="checkbox"/> 排水路接合部は、きめ細やかな施工がされている。<br><br>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。   |               | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |             |
|    | 上水道工事   | <input type="checkbox"/> 給水工事が適切に行われている。<br><input type="checkbox"/> 切管処理（面取り・塗装等）が適切に行われていることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 管弁類の衛生管理が適切に行われている。<br><input type="checkbox"/> 指定仮設が設計図書どおり施工されている。<br><input type="checkbox"/> 管弁類の接合においてボルトの締付けが、規定トルクで適正に締付けられていることを確認できる。<br><input type="checkbox"/> 直管の曲げ配管をする場合、許容曲げ角度内で施工されている。<br><input type="checkbox"/> 一体化長さを考慮して、異形管防護が適切に行われている。<br><input type="checkbox"/> 管の挿入（挿入機材及び滑材塗布等）が適切に行われている。<br><input type="checkbox"/> 連結工事、断水、通水及び洗管作業が計画書どおりに施工された。<br><br>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。  |               | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |             |

工事成績採点の考査項目表（標準型(土木用)）

項目：出来形及び出来ばえ

<検査員>

| 種別   | 工種   | a  | b                                  | c                          | d                          | e |
|------|--|--|------------------------------------|----------------------------|----------------------------|---|
|      |  | 90%以上<br>特に仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。  | 80%以上90%未満<br>仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。 | 60%以上80%未満<br>他の事項に該当しない場合 | 60%未満<br>仕上げが悪く、全体的に美観が悪い。 |   |
| 出来ばえ | 現場打ち擁壁工事<br>コンクリート舗装工事<br>コンクリート構造物工事  | <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の表面にあばた及びジャンカ(材料分離)がなく、肌が良い。<br><input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。<br><input type="checkbox"/> 天端仕上げや面取り及び端部仕上げ等が良い。<br><input type="checkbox"/> クラック及び漏水がない。<br><input type="checkbox"/> 既設との接続状況が良く、土羽等とのなじみも良い。<br><input type="checkbox"/> 打撃試験結果で全体的に十分な強度が確認できた。(修補対象ではなくても、強度発現不足があればマイナス評価とする。)<br><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。    |                                    |                            |                            |   |
|      | 法面工事   | <input type="checkbox"/> 雨水浸入の心配がない。<br><input type="checkbox"/> 植生及びモルタル等吹付の状態が均一である。<br><input type="checkbox"/> ラウンディング及び干渉部が確保され、端部処理が良い。<br><input type="checkbox"/> 構造的に安定感がある。<br><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。   |                                    |                            |                            |   |
|      | 鋼橋工事   | <input type="checkbox"/> 表面に補修箇所がない。<br><input type="checkbox"/> 部材表面に傷、錆がない。<br><input type="checkbox"/> 溶接に均一性がある。<br><input type="checkbox"/> 塗装に均一性がある。<br><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。   |                                    |                            |                            |   |
|      | 舗装工事   | <input type="checkbox"/> 舗装の平坦性が良い。<br><input type="checkbox"/> 歩車道境界ブロック等の構造物の通りが良い。<br><input type="checkbox"/> 適正な余盛及び既設路面へのすりつけが良い。<br><input type="checkbox"/> マンホール蓋等、道路内構造物へのすりつけ等が良い。<br><input type="checkbox"/> 縦・横断計画に従い、適切に路面排水が行われている。<br><input type="checkbox"/> 舗装路面に施工不良等に起因する損傷がない。<br><input type="checkbox"/> 横継目及び縦継目の仕上がりが良い。<br><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 |                                    |                            |                            |   |
|      | 可動ゲート工事  | <input type="checkbox"/> 仕上り状態が良い。<br><input type="checkbox"/> 主設備、関連設備、操作制御設備が全体的に統制されており、運転操作性が優れている。<br><input type="checkbox"/> 異常な振動、騒音がなく、動きもスムーズで、総合的な機能、運転性能が優れている。<br><input type="checkbox"/> 公共物としての安全、環境、維持管理への配慮が良い。<br><input type="checkbox"/> 溶接、塗装、組立等細部に渡る配慮が良い。<br><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。  |                                    |                            |                            |   |
|      | 橋・伸縮装置工事   | <input type="checkbox"/> 伸縮装置の通りが良い。<br><input type="checkbox"/> 端部処理が良い。<br><input type="checkbox"/> 伸縮装置の設置高が良い。<br><input type="checkbox"/> 下面側に施工による影響がない。<br><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。  |                                    |                            |                            |   |
|      | 床版補強工事   | <input type="checkbox"/> 表面に傷や補修箇所がない。<br><input type="checkbox"/> 塗装・溶接の仕上がりが良く、均一性がある。<br><input type="checkbox"/> 形状・寸法等が確保され統一性がある。<br><input type="checkbox"/> コンクリート構造物へのすりつけが良い。<br><input type="checkbox"/> 鋼板に溶接ひずみ・ボルト固定ひずみ(やせ馬現象)が見られない。<br><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。   |                                    |                            |                            |   |
|      | 小規模植栽工事  | <input type="checkbox"/> 樹種の特性に応じた自然樹形で整っており、樹冠を形成する一番下の枝の高さが適正な位置にある。<br><input type="checkbox"/> 樹種及び大きさに適合した支柱が堅固に設置されている。支柱との結束は幹の生育に支障がないように配慮されている。<br><input type="checkbox"/> 枝葉の節間が詰まり枝葉の配分が四方に均等であり、枝葉密度も良好である。<br><input type="checkbox"/> 植栽時期は樹種に応じた適切な時期に行っており、水締め及び水鉢が適切に施工されている。<br><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。  |                                    |                            |                            |   |
|      | 植栽工事   | <input type="checkbox"/> 樹種の特性に応じた自然樹形で整っており、樹冠を形成する一番下の枝の高さが適正な位置にある。<br><input type="checkbox"/> 樹種及び大きさに適合した支柱が堅固に設置されている。支柱との結束は幹の生育に支障がないように配慮されている。<br><input type="checkbox"/> 枝葉の節間が詰まり枝葉の配分が四方に均等であり、枝葉密度も良好である。<br><input type="checkbox"/> 植栽時期は樹種に応じた適切な時期に行っており、水締め及び水鉢が適切に施工されている。<br><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。  |                                    |                            |                            |   |
|      | 標識工事   | <input type="checkbox"/> 設置位置に配慮がある。<br><input type="checkbox"/> 標識の向き、角度、支柱の通りが良い。<br><input type="checkbox"/> 標識板、支柱に変色がない。<br><input type="checkbox"/> 支柱基礎の埋め戻し等が入念に施工されている。<br><input type="checkbox"/> 全体的な取り扱いがしやすい。<br><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。   |                                    |                            |                            |   |
|      | ※ 評価の対象とする工種が「主たる1工種」又は「2～3工種」であるかに応じて、次のとおり評価する。<br>・「主たる1工種」により評価する場合、該当する評価項目の数で評価する。この場合、評価の対象とする工種によって、a,b,c,dの区分が異なる。<br>・「2～3工種」により評価する場合、選択した評価対象項目に対する該当の有無の比率(%)で評価する。 |  |                                    |                            |                            |   |

工事成績採点の考査項目表（標準型(土木用)）

項目：出来形及び出来ばえ

<検査員>

| 種別   | 工種          | a  | b                                  | c                          | d                          | e |
|------|-------------|--|------------------------------------|----------------------------|----------------------------|---|
|      |             | 90%以上<br>特に仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。  | 80%以上90%未満<br>仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。 | 60%以上80%未満<br>他の事項に該当しない場合 | 60%未満<br>仕上げが悪く、全体的に美観が悪い。 |   |
| 出来ばえ | 塗装工事        | <input type="checkbox"/> 塗装の仕上がり良く、均一性が良い。<br><input type="checkbox"/> 細部まできめ細かな施工がされている。<br><input type="checkbox"/> 補修箇所がない。<br><input type="checkbox"/> ケレンの施工状況が良好である。<br><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。  |                                    |                            |                            |   |
|      | 区画線等設置工事    | <input type="checkbox"/> 塗料の塗布が均一である。<br><input type="checkbox"/> 視認性が良い。<br><input type="checkbox"/> 接着状態が良い。<br><input type="checkbox"/> 施工前の清掃が入念に実施されている。<br><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。   |                                    |                            |                            |   |
|      | 特殊法面工事      | <input type="checkbox"/> 施工精度が高い。<br><input type="checkbox"/> すでに排水が機能しており、設置位置の正確さがうかがえる。<br><input type="checkbox"/> 端部処理が良い。<br><input type="checkbox"/> 埋戻し及び盛土部の仕上がりが良い。<br><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。   |                                    |                            |                            |   |
|      | 盛土、築堤等工事    | <input type="checkbox"/> 全体的に野芝等の活着や種子の発芽状況が確認または予想できる。<br><input type="checkbox"/> 法面勾配が設計図書等に従い、適切に施工されている。<br><input type="checkbox"/> 既設地山へのすりつけが良く、雨水が集中しないように配慮されている。<br><input type="checkbox"/> ブロック等、構造物へのすりつけ等が良い。<br><input type="checkbox"/> 有害なクラックや沈下及びその兆候がない。<br><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。   |                                    |                            |                            |   |
|      | 切土工事        | <input type="checkbox"/> 規定された勾配が確保されている。<br><input type="checkbox"/> 法面の浮き石除去等、表面が適切に施工されている。<br><input type="checkbox"/> 法面勾配の変化部には干渉部等を設け、適切に施工されている。<br><input type="checkbox"/> 根株等の産業廃棄物処理も適切に行われている。または地権者の承認を得た上で現場内処理が適切に行われている。<br><input type="checkbox"/> 施工面には滞水防止等の処理が適切に行われ、機能している。<br><input type="checkbox"/> 関係構造物等との取り合いが適切に行われている。<br><input type="checkbox"/> 残土等は適切に処理され、苦情及び二次災害等の恐れがない。<br><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 |                                    |                            |                            |   |
|      | 環境護岸工事      | <input type="checkbox"/> 構造物の通り及び既設構造物との接合状態が良い。<br><input type="checkbox"/> 材料の連結及びかみ合わせが良い。またクラックもなく天端・端部仕上げ等も良い。<br><input type="checkbox"/> 起点・終点の既設構造物及び土羽とのすりつけが良い。<br><input type="checkbox"/> 埋め戻し・盛土部に沈下等の変形がなく、土羽の仕上げも良い。<br><input type="checkbox"/> 湾曲部の製品開きについて、協議をおこない、指示に従った現場打ち施工がされている。<br><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。  |                                    |                            |                            |   |
|      | 基礎工事(地盤改良等) | <input type="checkbox"/> 土工関係の仕上げが良い。<br><input type="checkbox"/> 通りが良い。<br><input type="checkbox"/> 端部、天端仕上げが良い。<br><input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。<br><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。   |                                    |                            |                            |   |
|      | 地覆・高欄工事     | <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の表面にあばた及びジャンカ(材料分離)がなく肌が良い。<br><input type="checkbox"/> 地覆及び高欄の通りが良い。<br><input type="checkbox"/> 地覆及び高欄の設置高が良く、波打っていない。<br><input type="checkbox"/> 天端仕上げ及び面取り・端部仕上げ等が良く、クラックもない。<br><input type="checkbox"/> 既設との接続で段差等がなく、接続状態が良い。<br><input type="checkbox"/> 打撃試験結果で全体的に十分な強度が確認できた。(一部及び若干の強度発現不足はマイナス評価とする。)<br><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。   |                                    |                            |                            |   |
|      | 防護柵工事       | <input type="checkbox"/> 路肩が確保され、通りも良い。<br><input type="checkbox"/> 端部が道路幅員内にはみ出していない。<br><input type="checkbox"/> 部材表面に傷、錆がない。<br><input type="checkbox"/> 既設構造物等とのすりつけが良い。<br><input type="checkbox"/> 施工延長が必要箇所に対して過不足がない。<br><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。   |                                    |                            |                            |   |
|      | L型擁壁類工事     | <input type="checkbox"/> 構造物の通りが良い。<br><input type="checkbox"/> 材料の連結・かみ合わせが良い。<br><input type="checkbox"/> 天端(嵩上げを含む)仕上げ・端部仕上げが良い。<br><input type="checkbox"/> 製品にクラック及び損傷がない。<br><input type="checkbox"/> 製品の直立状態に変形がない。<br><input type="checkbox"/> 地盤にクラックや沈下及びその兆候がない。<br><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。   |                                    |                            |                            |   |
|      |             | ※ 評価の対象とする工種が「主たる1工種」又は「2～3工種」であるかに応じて、次のとおり評価する。<br>・「主たる1工種」により評価する場合、該当する評価項目の数で評価する。この場合、評価の対象とする工種によって、a,b,c,dの区分が異なる。<br>・「2～3工種」により評価する場合、選択した評価対象項目に対する該当の有無の比率(%)で評価する。   |                                    |                            |                            |   |

工事成績採点の審査項目表（標準型(土木用)）

項目：出来形及び出来ばえ

<検査員>

| 種別   | 工種   | a  | b                                  | c                          | d                          | e |
|------|--|--|------------------------------------|----------------------------|----------------------------|---|
|      |  | 90%以上<br>特に仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。  | 80%以上90%未満<br>仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。 | 60%以上80%未満<br>他の事項に該当しない場合 | 60%未満<br>仕上げが悪く、全体的に美観が悪い。 |   |
| 出来ばえ | 地下排水工事(公園等)  | <input type="checkbox"/> 管のとおりが良いことが施工状況から確認できる。<br><input type="checkbox"/> 不等沈下や局所的な陥没等が発生していない。<br><input type="checkbox"/> 土工の仕上げが良い。<br><input type="checkbox"/> 施工区域内に地下水の影響と思われる湿った箇所がない。<br><input type="checkbox"/> 施工前と同等の機能回復が行われている。<br><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。  |                                    |                            |                            |   |
|      | 植栽張芝工事   | <input type="checkbox"/> 芝の生育状況及び張芝の活着状況が良い。<br><input type="checkbox"/> 横は目地がとおり、縦は千鳥で規則的に張り付けている。<br><input type="checkbox"/> 端部芝においては剥がれないように目串等で補強し、また端部処理も良い。<br><input type="checkbox"/> 剥ぎ取り芝の厚さに配慮した施工がされ、芝面の平坦性が良い。<br><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。  |                                    |                            |                            |   |
|      | ブロック積・水路工事   | <input type="checkbox"/> 構造物の通り及び既設構造物等の接合状況が良い。<br><input type="checkbox"/> 材料の連結、かみ合わせがよい。<br><input type="checkbox"/> クラック及び製品損傷が少なく、天端・端部仕上げ等も良い。<br><input type="checkbox"/> 起点・終点部の既設構造物及び土羽とのすりつけが良い。<br><input type="checkbox"/> 埋め戻し及び盛土部の沈下及び変形がなく、土羽の仕上げも良い。<br><input type="checkbox"/> 湾曲部の製品開きについて協議を行い、指示に従った現場打ち施工がされている。<br><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。   |                                    |                            |                            |   |
|      | 補強土壁工事   | <input type="checkbox"/> 壁面材(コンクリート製品)の割れやカケがない。<br><input type="checkbox"/> 基礎上面の平坦性が良い。<br><input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。<br><input type="checkbox"/> 壁面材の目違い、段差が少なく構造物の通りが良い。<br><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。   |                                    |                            |                            |   |
|      | 取壊工事   | <input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がされている。<br><input type="checkbox"/> 既存部分や関連設備との調整がなされている。<br><input type="checkbox"/> 取壊し後の整地等仕上がりの状態が良好である。<br><input type="checkbox"/> 取壊し対象(リサイクル材、産業廃棄物等)の散乱等がなく処理が適切である。<br><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。  |                                    |                            |                            |   |
|      | ボックスカルバート工事  | <input type="checkbox"/> 中心線の通りが良い。<br><input type="checkbox"/> 材料の連結・かみ合わせが良い。<br><input type="checkbox"/> 目地仕上げ・切欠き穴埋等仕上げが良い。<br><input type="checkbox"/> 資材の破損やクラックがなく、函内外面に補修痕もない。<br><input type="checkbox"/> 形状の違う接合部の段差及び樹等の接合が、設計図書等に従い、適切に施工されている。<br><input type="checkbox"/> 打撃試験結果で、現場打ちコンクリート部分の強度が十分発現していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 埋め戻し完了状態が良く、転圧不足による沈下等が危惧されない。<br><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。              |                                    |                            |                            |   |
|      | 下水道工事  | <input type="checkbox"/> 仕様書で定められた管の挿入が確認でき、接合状況が良い。<br><input type="checkbox"/> 管とインバートの接合部が平滑に仕上げられ、インバートの仕上がりも良い。<br><input type="checkbox"/> 管の勾配が規格値内であるだけでなく、管種・管径に応じた最低勾配を確保している。<br><input type="checkbox"/> 保水試験で漏水がなかった。(漏水処理を行っていればマイナス評価)<br><input type="checkbox"/> 汚水及び汚物の流下に対し、汚物等の堆積を懸念するような管のたわみがない。<br><input type="checkbox"/> マンホール蓋が道路面(道路の縦横断勾配)に適合している。わずかではあっても窪地的な設置はマイナス評価とする。<br><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 |                                    |                            |                            |   |
|      | 用排水管路工事  | <input type="checkbox"/> 基礎砂及び保護砂が均平にできている。<br><input type="checkbox"/> 埋め戻しの転圧状態が良く、転圧不足による沈下等の懸念がない。<br><input type="checkbox"/> 給水栓の設置状況が良く見栄えも良い。<br><input type="checkbox"/> 管路の仕切弁や空気ボックスの天端が道路面に適合している。<br><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。  |                                    |                            |                            |   |
|      | テニスコート人工芝工事  | <input type="checkbox"/> 砂充填の仕上がりから芝目が1mm程度出ている。<br><input type="checkbox"/> 中央部及び端部全体において平坦性が良い。<br><input type="checkbox"/> ラインの通り、寸法が正確である。<br><input type="checkbox"/> ジョイント部及び端部処理が良好である。<br><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。  |                                    |                            |                            |   |
|      | 仮設工事   | <input type="checkbox"/> 鋼矢板・親杭の通りが良い。<br><input type="checkbox"/> 覆工板にがたつきがない。<br><input type="checkbox"/> 鋼矢板のかみ合わせ等不良部分がない。<br><input type="checkbox"/> 床付け面の仕上げがよい。<br><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。(選択)   |                                    |                            |                            |   |
|      | ※ 評価の対象とする工種が「主たる1工種」又は「2～3工種」であるかに応じて、次のとおり評価する。<br>・「主たる1工種」により評価する場合、該当する評価項目の数で評価する。この場合、評価の対象とする工種によって、a,b,c,dの区分が異なる。<br>・「2～3工種」により評価する場合、選択した評価対象項目に対する該当の有無の比率(%)で評価する。 |  |                                    |                            |                            |   |

工事成績採点の考査項目表（標準型（土木用））

項目：出来形及び出来ばえ

<検査員>

| 種別   | 工種   | a  | b                                  | c                          | d                          | e |
|------|--|--|------------------------------------|----------------------------|----------------------------|---|
|      |  | 90%以上<br>特に仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。  | 80%以上90%未満<br>仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。 | 60%以上80%未満<br>他の事項に該当しない場合 | 60%未満<br>仕上げが悪く、全体的に美観が悪い。 |   |
| 出来ばえ | 推進工主体工事  | <input type="checkbox"/> 接合状況が良い。<br><input type="checkbox"/> 管内外面に補修痕等がない。<br><input type="checkbox"/> 推進位置（管埋設位置）が適切である。<br><input type="checkbox"/> 管とインバートの接合部が平滑に仕上げられ、インバートの仕上がりも良い。<br><input type="checkbox"/> スペーサー設置及び薬液・裏込め注入確認等の段階確認が行われ、不可視部の信頼が高い。<br><input type="checkbox"/> 保水試験で漏水がなかった。（漏水処理を行っていればマイナス評価）<br><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。                         |                                    |                            |                            |   |
|      | 柵工・筋工・伏越工事   | <input type="checkbox"/> 通りがよい。<br><input type="checkbox"/> 材料の連結、かみ合わせがよい。<br><input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけがよい。<br><input type="checkbox"/> 埋戻し及び盛土部の仕上がりが良い。<br><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。   |                                    |                            |                            |   |
|      | 土工事<br>（区画整理、農地造成）   | <input type="checkbox"/> 切盛の勾配が確保され、法面の仕上げがよい。<br><input type="checkbox"/> 整地、均平の仕上げがよい。<br><input type="checkbox"/> 畦畔、溝畔等の仕上げがよい。<br><input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけがよい。<br><input type="checkbox"/> 植生、吹き付け等の状態が均一であり、生育状況もよい。<br><input type="checkbox"/> 排水路の接続状態が良く、通水に支障がない。<br><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。  |                                    |                            |                            |   |
|      | 路面切削オーバーレイ工事   | <input type="checkbox"/> 舗装の平坦性が良い。<br><input type="checkbox"/> 適正な余盛及び既設路面へのすりつけが良い。<br><input type="checkbox"/> マンホール等、道路内構造物へのすりつけが良い。<br><input type="checkbox"/> 縦・横断計画に従い、適切に路面排水が行われている。<br><input type="checkbox"/> 舗装路面に施工不良等に起因する損傷がない。<br><input type="checkbox"/> 横継目及び縦継目の仕上がりが良い。<br><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。   |                                    |                            |                            |   |
|      | 剥ぎ取り舗装工事   | <input type="checkbox"/> 舗装の平坦性が良い。<br><input type="checkbox"/> 適正な余盛及び既設路面へのすりつけが良い。<br><input type="checkbox"/> マンホール等、道路内構造物へのすりつけが良い。<br><input type="checkbox"/> 縦・横断計画に従い、適切に路面排水が行われている。<br><input type="checkbox"/> 舗装路面に施工不良等に起因する損傷がない。<br><input type="checkbox"/> 横継目及び縦継目の仕上がりが良い。<br><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。   |                                    |                            |                            |   |
|      | 舗装復旧工事   | <input type="checkbox"/> 舗装の平坦性が良い。<br><input type="checkbox"/> 適正な余盛及び既設路面へのすりつけが良い。<br><input type="checkbox"/> マンホール蓋等、道路内構造物へのすりつけが良い。<br><input type="checkbox"/> 縦・横断計画に従い、適切に路面排水が行われている。<br><input type="checkbox"/> 舗装路面に施工不良等に起因する損傷がない。<br><input type="checkbox"/> 横継目及び縦継目の仕上がりが良い。<br><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。  |                                    |                            |                            |   |
|      | 水管橋  | <input type="checkbox"/> 表面に傷、錆、補修箇所がない。<br><input type="checkbox"/> 溶接仕上りの均一性が良い。<br><input type="checkbox"/> 管の通りがよい。<br><input type="checkbox"/> 侵入防止柵等が安全で安定した仕上がりとなっている。ただし修繕工事の場合、老朽化調査報告書があればよい。<br><input type="checkbox"/> 修繕工事の場合、鋼管の腐食診断報告書が提出され、指示に従った施工がされている。<br><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。   |                                    |                            |                            |   |
|      | 林道工事（軽微）   | <input type="checkbox"/> 設計図書どおり切取勾配が確保され、法面の仕上げがよい。<br><input type="checkbox"/> 設計図書どおり盛土勾配が確保され、法面の仕上げがよい。<br><input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけ及び良質土砂等の流用状況がよい。<br><input type="checkbox"/> 残土処理等が適切であり、二次災害の恐れがない。<br><input type="checkbox"/> 地下水及び雨水の処理が適切にされ、安定した構造となっている。<br><input type="checkbox"/> 張芝等による法面緑化が行われ、種子の発芽及び野芝の活着がよく、生育状態も良い。<br><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 |                                    |                            |                            |   |
|      | 木材木製品工事<br>（木橋、木土留工、木流路工）  | <input type="checkbox"/> 通りがよく、バランスが保たれている。<br><input type="checkbox"/> 金具等規格にあったものが使用され統一性がよい。<br><input type="checkbox"/> 形状・寸法等が確保され統一性が良い。<br><input type="checkbox"/> コンクリート構造物へのすり付け等がよい。<br><input type="checkbox"/> 地山への密着性が確保され仕上げがよい。<br><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。   |                                    |                            |                            |   |
|      | ※ 評価の対象とする工種が「主たる1工種」又は「2～3工種」であるかに応じて、次のとおり評価する。<br>・「主たる1工種」により評価する場合、該当する評価項目の数で評価する。この場合、評価の対象とする工種によって、a,b,c,dの区分が異なる。<br>・「2～3工種」により評価する場合、選択した評価対象項目に対する該当の有無の比率（%）で評価する。 |  |                                    |                            |                            |   |



工事成績採点の考査項目表（標準型(土木用)）

項目：出来形及び出来ばえ

<検査員>

| 種別   | 工種     | a   | b                                  | c                          | d                          | e |
|--|--------|---|------------------------------------|----------------------------|----------------------------|---|
|  |        | 90%以上<br>特に仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。   | 80%以上90%未満<br>仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。 | 60%以上80%未満<br>他の事項に該当しない場合 | 60%未満<br>仕上げが悪く、全体的に美観が悪い。 |   |
| 出来ばえ   | 暗渠排水工事 | <input type="checkbox"/> 畦畔、溝畔等の仕上げがよい。<br><input type="checkbox"/> 田面が均平に仕上げられている。<br><input type="checkbox"/> すでに暗渠排水が機能しており、十分な効果を発揮することが予想される。<br><input type="checkbox"/> 水路法面の復旧状態が良く、崩壊の恐れがない。<br><input type="checkbox"/> 施工方法及び仕上がりについて、地権者からの苦情がない。(民地内施工のため)<br><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。              |                                    |                            |                            |   |
|  | 上水道工事  | <input type="checkbox"/> 曲げ配管を含む管渠の通りがよく、過度の圧力が生じないよう工夫して接続している。<br><input type="checkbox"/> 弁筐等の仕上げがよく、設置高さも計画路面高又は現況地盤高にあっている。<br><input type="checkbox"/> 施工管理記録などから、不可視部の出来映えの良さが伺える。<br><input type="checkbox"/> 管理設位置は振動や騒音に配慮すると共に維持管理等を考慮した適切な位置となっている。(改善提案を行ってれば、評価対象とする。)<br><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 |                                    |                            |                            |   |
| ※ 評価の対象とする工種が「主たる1工種」又は「2～3工種」であるかに応じて、次のとおり評価する。<br>・「主たる1工種」により評価する場合、該当する評価項目の数で評価する。この場合、評価の対象とする工種によって、a,b,c,dの区分が異なる。<br>・「2～3工種」により評価する場合、選択した評価対象項目に対する該当の有無の比率(%)で評価する。 |        |   |                                    |                            |                            |   |